

城西国際大学

巻頭・特別対談

杉林堅次学長 × 堤丈晴 ジャパン
タイムズ社長

生きるための「知恵」こそ大切
(Wisdom)

学ぶ

「特集」観光学部

— 時代担う観光人材育成へ新たなスタート

名倉七海さん エア
ギター 世界選手権優勝

宮本華緒さん 海外
映画賞 「Best Makeup」受賞

JIUの動き/JIU百景/同窓多聞/高校生・受験生への耳寄り情報 ……他

2019
4
vol.3
城西国際大学広報誌

目次

- 2 [巻頭・特別対談] 学長 ジャパンタイムズ社長 杉林堅次×堤丈晴
- 6 JIUの「動き」 —あれも、これもあった
- 11 [特集] 観光学部
- 15 創立者・水田三喜男の足跡を辿る
- 16 研究室探訪/JIUに留学しました
- 17 空を翔る—JIUスポーツ
- 18 広がる感動の地平線—サークル紹介
- 18 水田美術館
- 19 [JIU百景]ここに銘木あり/JIU見て歩記/キャンパス点描
- 23 [でかした先輩] 名倉七海(エアギタリスト)/ 宮本華緒(メイクアップ・アーティスト)
- 24 同窓多聞
- 25 [インタビュー]三宅英雄 元東金商工会議所 会頭/東金ミニ歴史散歩
- 26 地域とともに[スポーツ編]
- 27 同窓会から/奨学金制度一覧
- 28 大学グッズ/父母後援会から
- 29 To Young—高校生・受験生への 耳寄り情報
- 30 悼む—秋澤瞳さんを偲ぶ/JIUでは/JOSAIサポート
- 31 バックナンバー/編集後記

表紙写真 安房キャンパスの展望デッキから見た太平洋

題字について

表紙の「学ぶ」は、辻元大雲さんによるものです。辻元さんは、毎日書道会理事、書道芸術院理事長を務められており、2017年度の「第69回毎日書道展」で最高賞「文部科学大臣賞」を受賞されています。千葉県袖ケ浦市在住。

城西国際大学学長 杉林堅次 × ジャパンタイムズ社長 堤丈晴

国際化が進 展し 文化の融合起きる—



生 生きるための 「知恵」こそ大切

杉林堅次学長とともに—。 今年が平成の時代が終わる節目の年。グローバル化、国際的な交流は進み、スポーツに限ってもラグビーワールドカップ2019、翌年には東京オリンピック・パラリンピック、といった大イベントが開催される。そして、城西国際大学は、2022年に創立30周年を迎える。その歩みを振り返りながら次のステップについて考えていきたい。杉林堅次学長が語り、「世界と日本」を見続けてきた堤丈晴・ジャパンタイムズ社長から貴重なご意見をいただいた。

—この間の世界・日本の変化について、どう感じられますか。

そしていま爆発的に人口が増加しているアフリカまで視野に入れる必要があるでしょう。

杉林学長 平成の最初にベルリンの壁が崩壊し、長い東西冷戦の時代が過ぎ去ったかと思っていました。いつのまにか中国が台頭し、世界は米国と中国の2大国時代になってきました。

また、中国は長い相互交流の歴史を持つ隣国です。我が国の貿易の相手国としてもこの2つの国が1位、2位を占めています。

我が国は貿易(通商)なくしては成り立たない国だと思います。また、これは米国、中国、そして欧州だけでなく、中国以外の東アジア、さらには発展著しい東南アジアにも注目していく必要性を感じます。また、近い将来にはインドから中東、

米国は我が国の最大の同盟国で、

また、中国は長い相互交流の歴史を持つ隣国です。我が国の貿易の相手国としてもこの2つの国が1位、2位を占めています。

効率良くモノを作り、それがパワ

ーの源となってきた。が、こ

れからは、さまざまな価値観や

スキルを有した多様な人材が、

向き合うことが必要になってき

ています。これまでの上意下達

の「グループ」ではなく、多様

なスキルを活かし合う「チーム

」が重要になってきたのだと思

います。例えば、ラグビーワ

ールドカップの日本代表チーム

です。おそらく国籍が違う、ス

キルが多様な選手が多く選出

され活躍するでしょう。

多様性を重視した社会を目指

すという点で、今年開催される

ラグビーワールドカップは日本

のダイバーシティー推進の試

金石になると思います。

杉林学長 我が国は、著しい高

齢社会を迎えましたが、この後

は人口が大きく減少し始めます。

当然、労働人口が減少するので、

海外から労働者を受け入れる必

要があるでしょう。一方で、観

光客も年間3000万人を超え

たという報道がありました。世

界の変化から見ても、日本の変

化から見ても、国際化が加速

的に進むことは明らかでしょう。

また、国際化の進展に伴い我が

国でも文化の融合が起きてくる

でしょう。

—そうした「変化」に伴う、

大学への社会からの期待・要請

については、どうお考えですか。

杉林学長 はい。世の中が激し

いスピードで変化していること

を、人々は理解しておられると

思います。私は薬学部で学びま

したが、現在医療で用いる医薬

品の99%は50年前には存在しな

かったと言われます。私が学ん

だ40年前前の医薬品のことを私

は「懐メロ」ならぬ「懐ドラ」(下

ラッグ)と呼んでいます。さて、

大学で学ぶ知識とはどういうも

のでしょうか？

大学ではいまま「知識」「技

能」、そして「態度」の付与

が大切であるといわれてきま

したが、この大変革の時代にあ

つて私は、人間としてのあり方

を常に問う主体的で洞察力に富

んだ思考力、歴史と現在、また、

変わるものと変わらぬものを

知った上で、今日と未来の変化

を理解する能力、すなわち生き

るための「知恵(Wisdom)」こ

そが大切であると考えてるよう

になりました。ただ、知恵(Wisdom)

は教えるのが難しいので、これ

からは教員と学生が一緒にな

って学ばなければならぬでしょう。

堤社長 これからの人材に求め

られることは、多くの情報を記

憶することよりも、自分自身で

考え抜いた意見を持つことです。

その意味で、課題設定能力を持

つた人材を育成することが、大学

に対する社会的な要請なのだ

人間がしたいこととは何かを見極める

—JIUは、千葉県の東金、鴨川と東京の紀尾井町にキャンパスを有し、8学部10学科と大学院、留学生別科などを擁する国際的総合大学に発展しました。さらなる「キャンパスの国際化」についてのお考えは？

杉林学長 東金のメインキャンパスには薬・看護・福祉などの医療系学部が充実しています。健康で過ごすことは万人の願いでもあり、国家の垣根などありません。医療系学部は医療職の国家資格を取りますのでいまは留学生の比率は少ないですが、

ねないという危機感があります。そうした現状を踏まえれば、自身の将来像と社会的課題の解決テーマを結び付けて考えられる人材を数多く輩出することが大学に求められていると思います。

これからはJIUの医療系大学院が充実してきますので、さらに国際色豊かになると考えています。

我が国は世界に先駆けて少子高齢社会になりました。中国はいま我が国に次いで少子高齢化が進んでおり、我が国での現在の経験を中国の高齢者福祉に生かすことが出来るでしょう。JIUの福祉総合学部では、日本だけでなく世界の高齢者福祉を担っていただける人材を育てていきたいと思っています。

堤社長 「グローバル人材」と

いうよりも「人材のグローバル化」に期待したいですね。英語をペラペラ話せるかどうかよりも、異文化を理解して、どこにいても誰とでも一緒に仕事ができるということ。例えば、海外で活躍しているスポーツ選手は必ずしも語学が堪能でなくても、グローバル競争の中で結果を出し続けている。腕一本で海外を渡り歩いている料理人も多い。語学力よりも、国際的に通用するスキル、専門技能を持った人材が求められていると感じます。

AI（人工知能）、IoT（Internet of Things）、モノのインターネット）には大きな可能性があると思いますが、その可能性を發揮するには広く社会に浸透することが必要です。社会に広く出ていくには技術開発だけでなく、法整備や規制緩和など制度設計にまでつなげることが大切で、そういう意味で理系人材だけでなく、社会科学・人文科学の文系人材も重用されていくでしょう。

人間は必ずしも合理的な判断をしない感情の動物です。同じことを続けていけば飽きるし、体に悪いと分かっているでも食べると、無駄なことも楽しんでいる。人口減少社会という現実の中で、人生100年時代への対応も求められています。

杉林学長 大学もAI時代に適した教育が必要になってきました。「詰め込み教育」「一方通行」と揶揄されることの多いこれまでの知識偏重主義教育から脱却し、体験学習や調査学習、グループワークやディスカッションなどを通じて、学生が「自ら能動的に学ぶ力」を身に付けられるような教育へと転換していかねばなりません。どの学部でもプログラミングや情報科学（IT）教育、特に世の中にあるビッグデータを（統計）解析できる教育や研究が必要になります。

また、AIに代替不可能な「人の気持ちに寄り添い」、「他者へのコンサルテーション」ができる人材を育成できる教育システムを作り上げることが必要でしょう。大学の教職員はまさにAIに代替不可能な職業の1つと言われていますが、だからこそ、大学教職員にはIndustry 4.0やSociety 5.0と言われる大変革に対して自らを変えていく努力と柔軟な考え方が必要です。

人間にしかできない仕事とは何か。人間がしたいこととはそもそも何なのか。を見極めること。人間の役割はロボットのために仕事を作り続けることなのかもしれません。

杉林学長 日本の大学ではまだ理系・文系の区別がはっきりしていますが、これからは新しい技術を開発し利用していくために、文理融合教育が重要になっていくでしょう。JIUではこれから新しいコースや分野を作っていきたいと思っています。

——地域においても大学が知の拠点としての役割が期待されています。



杉林堅次学長

「コンパス」が すぐに役立つもの、

「地図」よりも 重要な時代



堤丈晴・ジャパンタイムズ社長

堤社長 「すぐに役立つものは、すぐに役立つもの」と感じています。その意味でも「学び直し」が大切、社会的な要請ですね。インターネット出現後の社会の中で、未来の学びに向けたヒントとして「Compass over maps」という言葉があります。

これは「地図」よりも「コンパス」が重要な時代になる、という意味です。変化の激しい時代、「地図」はすくなく上書きされて変わってしまう。最新だと思っても、しばらくすると役に立たなくなってしまう。どんなに地形や境界線が変わっても「コンパス」があれば自分の進む道は分かれます。先行きが不透明な中、針路を決めるために、自分なりの座

います。

杉林学長 JIUには多くの留学生が学んでいますので、まさに多文化共生の舞台となっております。また、本学にはすでに200校近い海外提携校があります。学生が海外で短期間でも研修すると、言語、服装、食べ物、考え方、手順、方法、価値観などいろんな面で日本との違いに気づきます。この違いはどちらが優れているという問題ではありません。留学先やJIUキャンパスで海外の学生と接して多文化共生を経験することによって、他国の文化を知り、そこに暮らす他者の気持ちを尊重する考え方が生まれます。しかし、もっと大切なのはその後です。実は国内でも多様な人が多様な価値観で暮らしていることに気づくことが重要だと思います。

今後、日本には多くの外国人労働者がやって来て、さまざまな地域で働くでしょう。その子供たちの教育も大切になってくるでしょう。子供たちが成長して日本の大学に入るとします。卒業して日本にとどまるかどうか分かりません。きっと、学んだうえで、世界に目を向け、世

標軸を持つことが、これからの時代には非常に重要だと思うのです。また、メディアに働く人間として言いたいのは「リテラシー（メディアを読み取る能力）」を高めてほしいということです。情報の収集も、食事同様、バランスを考えることが大切です。しよっぱいもの、脂っこいもの……と好きなものばかり食べていると、体調を崩します。自分の好きな人の意見ばかり聞いていると「閉じた社会」に入り込んでしまいます。更には言えば、量はあるけれど中身の少ないもの、栄養のないものをいくら食べても体力はつきません。情報の質はとても重要です。メディアリテラシーは、将来グローバルなステージで活躍が期待される学生の皆さんには、絶対に必要なスキルだと思います。

界にはたくさん人も多いと思います。JIUはそうした子供たちからも認められる大学、「知の拠点」になってほしいです。

JIUでは多様で個性的な取り組みによって改革を推進し、また、多様性と特色を活かしたカリキュラムを編成して、今以上に先鋭化していくことが必要でしょう。すなわち、海外を知れば、地域連携も進んでくるものと考えています。地方創生とグローバル化対応教育では、地域（世界における日本、日本における各地域）を熟知し、日本及び地域が持っている資源を活用し、その独自性を表現する能力が重要性です。

メインキャンパスがある千葉県東金市や観光学部がある鴨川市も過疎の問題がすでに顕在化しており、若者が集う大学があるからこそ、大学が知の拠点としての役割を担わねばなりません。大学と協働して、共に新しいものを創造していく「共創」が必要だと思います。

堤社長 「グローバルゼーション」は「ローカリゼーション」でもあるのです。ビジネスの世界でも、国内市場以外を指してグ

ローバルマーケットなどといった言葉がありますが、そんな市場はどこにもありません。あるのは国や地域です。それらは全て違う市場です。中国市場というマーケットもありません。あるのは上海や南京といった事情の違う地域のマーケットです。グローバル戦略と謳い、画一的なアプローチをしようものなら、まず間違いなくビジネスは失敗してしまいます。まず地域の実情を知ることが重要です。大学と地域の関係も同じでしょう。地域が抱える課題を具に把握することで、独自性のある地域貢献が可能になるのではないのでしょうか。

杉林学長 地域振興に大学がいかに寄与するかということを考えると、今後はさらに日本や大学が置かれた地域の資源や特色を活用して多様で独自性のある教育研究を推進することが必要でしょう。

「マルチステージ人生」
に変わる

——いま、AI時代と言われ、多くの職業がそれに代替されそうです。また、日本は少子高齢

杉林学長 人生100年時代では「教育を受け、仕事をし、老後となる3ステージ人生」から「マルチステージ人生」に変わるのですから、大学入学者の年齢層を拡大していかねばなりません。学びなおし、リカレント教育体制の充実も必要でしょう。欧米や中国・韓国では進んでいる「大学院の充実」も重要です。これからは日本で教育を受けた学生が日本で仕事をすることは限りません。たとえ日本では限られていたとしても海外の方たちと一緒に仕事をする機会が多くなるでしょう。日本では大学院に進学する理系学生は多いのですが、人文系や社会科学系では大学院進学率は極めて少ないのが特徴です。もちろん社会の要請にも関係するので、人

文・社会科学系の大学院生数がすぐに増えるわけではないでしょうが、欧米や中国の影響もあって日本でも徐々に大学院進学率が上がってくるでしょう。

JIUのリカレント教育は、すでにシニアウエルネス大学やエクステンション講座で始めています。また、JIUの人文系や社会科学系の大学院は他大に比べて充実していますので、これからのJIUでは人生100年時代に対応した教育をさらに進めたいと思っています。

私は医薬品から化粧品や機能性食品についても研究してきましたが、これからは、生活者だけでなく社会のアンチエイジングについても大学が先頭に立ち、考えていくべきかと考えるようになってきました。

略歴

杉林 堅次

富山大学大学院薬学専攻（修士課程）修了。薬学博士（岐阜薬科大学）取得。米ミシガン大学、ユタ大学留学。講師、助教授などを経て城西大学薬学部教授。また、薬学部部長、城西大学・城西国際大学副学長を歴任した後、2017年4月城西国際大学学長。日本薬学会賞、Shukri Distinguished Keynote Lecture Award、日本動物実験代替法学会功労賞、アジア薬学会賞（AFPS Award）など受賞。マレーシア・マネジメント科学大学の名誉博士。

堤 丈晴

株式会社ジャパンタイムズ代表取締役社長
1988年4月、株式会社ジャパンタイムズ入社。2003年2月人事部長兼CRM室長。2004年8月販売局長兼CRM室長。2005年12月販売局長兼販売部長兼CRM室長。2006年3月取締役販売局長。2007年3月取締役労務担当兼管理局長兼CRM室長兼関連事業室長。2011年5月取締役営業担当兼クロスメディア局長を歴任し、2012年6月代表取締役社長に就任（現職）。弘前大学卒。札幌市出身。

The Japan Timesについて——多様性と独自性のある日本関連の英文ニュースを提供している国内で最大の販売部数を誇る英字新聞。1897年創業以来、政治、経済、文化、社会及びスポーツ報道を通じ、日本を世界に発信する役割を果たしてきた。2013年からは世界中のオピニオンリーダー及び各業界のキーパーソンに向けたコンテンツを揃える最高級紙であるThe New Yorkとの業務提携により、2紙をあわせた「The Japan Times / The New York Times」として発行している。

城西国際大学は、社会科学系、人文科学系、自然科学系、福祉・医療系の8学部10学科と大学院、留学生別科などを擁する国際的総合大学。アジア地域をはじめ米国・欧州の30カ国、約170の大学と提携している。千葉県東金市・鴨川市、東京紀尾井町にキャンパスがある。

- 学部**
- 看護学部——看護学科
 - 薬学部——医療薬学科
 - 福祉総合学部——福祉総合学科・理学療法学科
 - 環境社会学部——環境社会学科
 - 経営情報学部——総合経営学科
 - メディア学部——メディア情報学科
 - 国際人文学部——国際文化学科・国際交流学科
 - 観光学部——観光学科

- 大学院**
- 人文科学研究科——国際文化専攻（修士課程）
 - ▼女性学専攻（修士課程）▼グローバルコミュニケーション専攻（修士課程）▼比較文化専攻（博士後期課程）
 - 経営情報学研究科——起業マネジメント専攻（修士課程）▼起業マネジメント専攻（中小企業診断士登録養成課程・修士課程）▼起業マネジメント専攻（博士後期課程）
 - 福祉総合学研究科——福祉社会専攻（修士課程）
 - ビジネスデザイン研究科——ビジネスデザイン専攻（修士課程）
 - 薬学研究科——医療薬学専攻（博士課程・4年制）
 - 国際アドミニストレーション研究科——国際アドミニストレーション専攻（修士課程）

- 留学生別科**
- 日本文化専修課程
 - 日本語専修課程

シニア・ウェルネス大学（生涯教育）

シニア・ウェルネス大学は、教養・健康・学術的取り組みなど、大学が有する知的資源を分かりやすく提供することによって、地域の方の生涯教育を推進し、生きがいをもって社会参加していただくことを目的として、2006年に開設された。

2018年度より、シニア・ウェルネス大学は1年制プログラムとなり、運動・栄養・くすり・福祉などに関する知識を習得しながら、「健康・生きがいづくり」を支援するプログラムを提供している。また、ウェルネスリーダーの資格を取得することも可能である。講義や実技は、春学期は4月、秋学期は9月から開講しており、本学の教員だけでなく外部からも講師を招いて行われる。プログラムの修了者には、卒業式に合わせて修了証書が授与される。



シニア・ウェルネス大学の活動写真。高齢者が参加しているイベントの様子が写っています。

JIUの「動き」

—あれも、これもあった

2019年3月まで

学び舎、日々充実

留学しやすい環境、 本学がトップ10入り

独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の「平成29年度協定等に基づく日本人学生留学状況調査結果」（2019年1月18日発表）において、城西国際大学は、858人で、全国の大学で9番目にランクインした。

2016年度（平成28年度）の派遣数は652人で、本学の海外派遣学生数は確実に増えている。

本学では、短期・中期の海外研修だけでなく、休学せずに卒業できる長期留学が可能で独自のJ-EAP留学など、留学しやすい環境が整っている。

例えば、同機構の「平成31年度海外留学支援制度（協定派遣短期研修・研究型）」には、全学部で24プログラムが採択されている。この奨学金は返還不要で、短期留学プログラム参加者にとっては経済的支援となる。さらに2019年度入試より新たに授業料が最大4年間半額となる「J特待生制度」を新設。本学が指定する英語スコアを有する受験生の選抜を行う。海外留学しやすい環境がさらに整い、今後海外派遣学生数がさらに増える見込みだ。

また、同機構が発表した「平成30年度外国人留学生在籍状況調査結果」において、本学に在籍

館内マップ作成

東金キャンパスの水田記念図書館をより利用しやすいようにと、館内マップが作成された。（日本語・英語・中国語）。

同図書館の概要は以下の通り。



※安房・紀尾井町キャンパスの水田記念図書館の館内マップもある。

竣工 2001年（平成13年）2月15日

構造 RRC造3階建

床面積 7464平方メートル

1階 総合カウンター、メディアラウンジ、視聴覚コーナー、レファレンスコーナー、オリエンテーションルーム（200席）、グループ学習室

2階 開架閲覧室（和図書、グループ学習室（3室）、書庫

3階 開架閲覧室（洋図書、中国・韓国・台湾図書、製本雑誌）、グループ学習室、閲覧ブース（16室）

閲覧席 775席

JIU往来—海外大学と 新たに学術協定

2018年10月25日・26日、杉林堅次学長は中国・吉林省にある吉林師範大学、吉林農業科技大学を訪問し、学術交流協定を

新たに締結した。吉林師範大学は吉林省四平市と長春市にキャンパスを有する大学で約17000名の学生が在籍している規模の大きい大学。本学と大連市にある大連理工大学との日中連携大学院に強い関心を持たれていた。

吉林農業科技大学は吉林市内にある公立大学で、創立111年目を迎える名門農業大学。大学院が設置されていないため、将来は本学の大学院への進学者と経営分野での交流が期待される。

特別講義

国際交流学科生「リトアニアを学ぶ」

1月27日、ヨーロッパのリトアニア共和国にあるミコラス・ロマリス大学（MYKOLAS ROMERIS UNIVERSITY）Grazina Ciuladene 准教授が東金キャンパスに来学し、特別講義を行った。国際交流学科

の学生に、リトアニアの食や文化、歴史の変遷について紹介した。

EUでは、EU内の学生と教員の交流を深める「エラスムス（Erasmus, European Region Action Scheme for the Mobility of University Students）計画」という取り組みが行われていた。2014年からは「エラスムス・プラス（Erasmus+）」として、EUとEU外の国の間でも大学間協力が行われるようになり、今回協定校から教員を受け入れた。

ミコラス・ロマリス大学は首都ヴィリニウスにある国立大学で、リトアニアで2番目の規模を誇る大学。ヴィリニウスは人口約62万人の小規模な街だが、由緒ある歴史と経済的・文化的に豊かな都市だ。交換留学が可能だ。

2020オリンピック・パラリンピック「ボランティア」説明会開催

2018年11月16日、東京2020オリンピック・パラリンピック大会ボランティア募集説明会を東金キャンパスで開催した。大会組織委員会と千葉県の担当者から、大会ボランティアと都市ボランティアについての説明が行われ、学生たちは熱心に聴講して



立ち見が出るほど多数の学生が参加し、関心の高さがうかがわれた。城西国際大学では、学生がボランティアに参加できる環境づくりを積極的に支援している。地域教育医療福祉センターのウェブサイトで、東京2020オリンピック・パラリンピック大会に向けた本学の取り組みを紹介している。

JIUフェスティバル

2018年11月3日、4日の両日、東金キャンパスで「第27回JIUフェスティバル」が開催された。今年度の大学祭のテーマは「軌跡とWe

explore the future」＝写真。平成最後の開催となることから、今までの大学祭を振り返り、大学祭がさらに発展していく願いが込められている。4日には、バザーが開催された。バザーの収益金については、ボランティア団体への寄付を行う（バザーに出展いただきましたご父母・大学関係者の皆さま方に御礼申し上げます）。

また、12月8日には、恒例の「JIU Light Festival 2018」が開催された。学友委員会、大学祭実行委員会を中心となり、「冬の華 咲き・舞い・散る」そして振り返り「」をテーマに、花の一生と学友委員会の歩んできた道のりを重ね合わせ、これからの華やかな未来を作り上げていくという思いを込め企画された。

体育館内に設置されたメインステージでは、課外活動団体が日頃の練習の成果を披露。また、縁日に仕立てられたサブステージでは、昔ながらのゲームを楽しめるなど、イベントが多数催された。

JIU学会

2018年12月1日、東金キャンパスで「JIU学会 学生研究活動成果発表会（口頭部門）」が開催

された。今年度は、学部の異なる10の団体が参加し、各団体の発表において、活発な意見交換がなされた。また、学生間の相互評価を中心に審査を行った結果、最優秀賞及び優秀賞として、それぞれ以下の団体が選ばれた。

- 最優秀賞** 薬学部 堀江・田嶋ゼミ
——「漢方薬の飲み方、お湯と水の効果の違い」
- 優秀賞** 薬経営情報学部 神余ゼミ
——「Paper-Digital、ペーパーレス化が私たちの生活を変えて」
- メディア学部 寺本ゼミ
——「本学におけるグローバルコミュニケーションのあり方に関する実践的研究—効果的なコンテンツ制作・発信のあり方について—」



主催したJIUキャリア形成・就職センターによると、この日、ブースを出した企業は108社で、学生は、看護学部、薬学部などを除く、各学部の3年生（現4年生）407人、2年生（現3年生）46人が参加。留学生や大学院生の姿もあった。この研究会で参加企業の担当

「企業研究会2019」開催

から「企業研究会」をスタートさせた。新たに2年生（現3年生）も対

2019が、1月27日の日曜日に千葉幕張のホテルで開催された。前年まで、3年生を対象に「就職面談会」を行ってきた。しかし、経団連が2021年春入社以降の新卒者を対象とする就職採用活動のルールの廃止を決定するなど、「就活」の状況の激変を考慮して今年

者との「ネットワーク」が形成しようという学生もおり、会場は熱気にあふれた。

キャリア形成・就職センターの担当者には「就職ルールの撤廃の影響で、年々、就活の時期が早まるだろう。東京オリンピック・パラリンピックに向けた建設ラッシュなどの景気も続かず、また米中貿易戦争の行方も不透明で就職戦線の厳しさは増すと思う」と話す。

「水田奨学生」

学習奨励賞」授賞式

「学問による人間形成」を建学の精神にしているJIUは、学業

成績・人物などが優秀な学生に対して「水田奨学生制度」を設けている。1年生（現2年生）を対象にしたその授賞式が1月28日、東金キャンパスで行われた。写真。水田奨学生に選ばれたのは、国際人文学部国際交流学科の加古達輝さんら7人、メディア学部メディア情報学科の菅家千妃呂さんら18人が学習奨励賞を受賞した。両賞の受賞者を代表して、福祉総合学部理学療法学科の中畑海さんに杉林堅持学長から賞状が授与された。

続いて、経営情報学部総合経営学科の藤原優衣さんが「水田奨学生に選んで頂いたこと心より

感謝申し上げます。グローバル化が謳われている今日において、常に世界に目を向けるだけではなく、同時に日本のよさを世界に発信できるようなグローバルリーダーになるべく日々学んでいます。世界の文化や価値観の違いなどを理解し、自分の意見を持ちながらも他者の意見や考えを尊重する協調性を養いたいと思っています」と決意表明した。

なお、2年生（現3年生）以上を対象にした水田奨学生・学習奨励賞授賞式は、前年夏に行われている。



海外協定校訪問・来学／海外セミナー・研修

海外協定校訪問・来学

4大学と交流

2018年9月、薬学部とノッテインガム大学（イギリス）薬学部で学術交流に関する覚書を締結した。

2018年10月、チュラロンコン大学（タイ）の薬学部長が来学し、授業見学などを行った。

2018年10月、杉林学長が瀋陽師範大学（中国）を訪問し、韓国海副学長や管理学部の王海燕学部長と面会した。

2018年12月、薬学部にシラパコン大学（タイ）の学生4名が来学し、成果発表会を開催した。

海外セミナー・研修

「看護学部」

2018年の夏休みに、アメリカ、ハンガリー、オーストラリア、中国、韓国、インドの各国で研修を行った。

それぞれの国で行われる医療を体験したり、現地の学生とのコミュニケーションを深めた。

「福祉総合学部」

2018年9月、福祉総合学科2～4年生がカリフォルニア大学リバーサイト校を中心に、コミュニケーション・ソーシャルワーク（地域福祉）の現状を学んだ。

「国際人文学部」

2018年9月、コミュニケーション・インターンシップを台湾で実施。

淡江大学、台北城市科技大学にて、日本語教育実習を6日間実施したほか、現地の高校も訪問し、日本語教育実習と交流会を行った。

2018年11月、韓国・高陽市から訪日する高陽グローバル次世代ネットワークの大学生ら17名が、韓国教育院の協力のもと、国際文化学科の学生と交流会を開催した。

紀尾井町キャンパスでは

「税」テーマに特別講演

学びとキャリア形成への貴重な刺激に

2018年10月19日に、経営情報学部「ビジネスキャリア」の授業の環として特別講演会が開催された。

講師は、東京国税局・麹町税務署の小林徹副署長。この講演会を実施するにあたり、



同年5月より税についての学生の関心と理解を高めるために東京国税局の広報担当の方と連携を取りつつ、活発な意見交換を行ったうえで開催の運びとなった。

「税を考える」の講演テーマのもと、「1・暮らしの中の税」「2・税の種類と分類」「3・国の財政」「4・これからの社会と税」「5・国税庁の取組」「6・税のスペシャリストになるためには」という6つ柱で、具体的な事例や最近の話題を交えて講演いただいた。写真。受講した学生たちから、「難しい内容を予想していたが、わかりやすいお話に引き込まれた」「今後消費税の問題も含めて税制や社会保障に注目し、広く勉強していきたい」「国税専門官の仕事に大変関心を持った」等の声が寄せられた。学生たちにとって、今後の学部での幅広い学びとキャリア形成の目標に大変貴重な刺激をいただいた。

避難所総合防災訓練

2018年11月10日、千代田区立麹町中学校で行われた麹町中学校避難所総合防災訓練に紀尾井町キャンパスの学生が参加した。

災害が発生したと想定し、麹町中学校に避難所を開設する訓練を行った。「総務部」「情報部」「衛生・救護部」「給食・物資部」に分かれ、それぞれ役割の内容を訓練。また、その他に煙体験や初期消火訓練も行い、地域の人たちと一体になって多くのことを学んだ。

オレンジリボンキャンペーン

2018年11月15日、「千代田区オレンジリボンキャンペーン」みななを守るうー千代田つ子の笑顔」に紀尾井町キャンパスの学生が活動に参加した。

午前10時より東京駅八重洲北口改札周辺にて、街頭キャンペーンの内容を拡声器にてアナウンスし、グッズの配布を行った。

また、この活動に参加している千代田区役所の職員、企業、他大学の学生とも交流を深め、オレンジリボンキャンペーンの重要性を学ぶことができた。

「JIU学生映画祭」開催

審査員に映画監督の大森立嗣氏、絵本作家の長田真作氏、女優の佐藤睦さん

第7回JIU学生映画祭が2018年11月24日、25日の両日、開催された。写真。この映画祭は、大学内にくわくある映画サークルやゼミで制作した作品を集めて上映する催しで、「総合クラブ」「長編優秀賞」「短編優秀賞」を始め13個の賞が学生に授与される。

今回のゲスト審査員は「まほろ駅前多田便利軒」のぼつちゃんなどの



作品で監督を務める大森立嗣監督をはじめ、絵本作家の長田真作氏、NHK連続テレビ小説「半分、青い。」に出演された若手女優の佐藤睦さんの3人。審査の講評では、審査員の皆さんから暖かいお言葉をいただいた。

国際学会

東京紀尾井町キャンパス地下ホールで2018年11月17日、ポーランド独立回復100周年記念国際

学会「2018 in Japan」(International Scientific Conference on the occasion of the 100th Anniversary of Regaining Independence of the Republic of Poland)が開催された。NPOフォーラム・ポーランド組織委員会が主催し、ポーランド大使館、ポーランド広報文化センターが後援した。ヤツェク・イスイドルチク駐日ポーランド大使の挨拶の後、羽場久美子・青山学院大学国際政治経済学部教授が「中東欧諸民族独

立100年と地域共同——世界戦争、大国の危機と新世界秩序」と題して招待基調講演を行った。このあと、ポーランドの文学・言語・経済・歴史についての発表があった。

JIU往来——海外大学と

韓国・韓南大学一行と交流

1月31日、海外協定校の韓南大学のLinton Global学部

Global IT Business学科の金載庚教授と学生5名が、東京紀尾井町キャンパスを来学した。学生が中心となってIT関連企業訪問を行い、日本企業への就職に関するインタビュー調査を行う授業の一環として、経営情報学部との交流会を行った。本学部の4年生でIT企業など就職が内定している学生達と、日本の就職状況、日本企業に就職するために必要な準備などについて、情報交換をした。

本学でのゼミ教員のサポートに加えて、ビジネスキャリアの授業や就職センターとの連携による就職活動のサポート体制についても熱心にメモを取っていた。また、韓国での就職状況は厳しく、本学の学生達が複数企業から内定を取っていることに驚いていた。この後、紀尾井町キャンパスの見学を行った。

学校法人城西大学では

マハティール首相 桐花大綬章

城西大学名誉博士マハティール・ビン・モハマド (Mahathir bin Mohamad) 氏、現マレーシア首相が、2018年11月3日、日本で

最高の勲章である桐花大綬章を受賞された。学校法人城西大学一同、大変喜ばしく思っております。

このたび、マハティール首相に敬意をお伝えしたところ、「またぜひ城西を訪問し、学生らと語りあいたい

と思います」とのことです。マハティール首相の益々のご活躍とご健勝を願っております。

ハンガリーデー2018

2018年12月8日、ハンガリー友好協会と本学の共催で「ハンガリー・デー2018」を開催した。

「日本で読むハンガリーの文学」についての講演や神奈川県立弥栄高校合唱部による合唱・クラリネット・コンサートやピアノ演奏も披露された。写真。ランチタイムにはハンガリー料理を中心としたビュッフェが提供され、人気を集めていた。



中欧+日本学生会議

2月21日、紀尾井町キャンパス3号棟の国際会議場において「第5回 中欧+日本 (Central Europe/Japan) 学生会議」が、学校法人城西大学中欧研究所の主催により開催された。今回のメインテーマは「多様化する社会——外国人労働者との共存」。この会議にはマサ

リク大(チェコ)▼ケルン大(ドイツ)▼セグド大(ハンガリー)▼ミコラスロメリス大(リトアニア)▼ウッチ大(ポーランド)▼コモニウス大(スロバキア)▼ノヴァ・コツァ大(スロベニア)の提携校の学生らが参加した。写真。今回から、リトアニア、スロベニアの提携校を招聘。また、セグド大が初参加した。マサリク大、コモニウス大とは、協働で新たな研修プログラムをスタートさせる予定だ。



特集 観光学部

時代担う 観光人材 育成へ新たなスタート

自然豊かな国際的な観光地・千葉県鴨川市には、観光学部の安房キャンパスがある。本頁写真のように太平洋を一望できる、「学び」にふさわしい絶好の環境の中で、21世紀を担う観光人材を育成している。2019年4月、観光学部は新たなスタートを切った。



美しい「初日の出」=安房キャンパス「展望デッキ」で2019年元旦撮影

「観光学部観光学科」に衣替え

行政、地域の人々との協同による実践教育を展開

観光学部・安房キャンパスのある鴨川は、学校法人城西大学の創立者、水田三喜男先生のふるさとである。この地に、城西国際大学は、2006年、新たに観光学部（ウェルネスツーリズム学科）を開設した。東金キャンパスに比べ、規模は小さいが、すでに10年以上の歴史を刻み、地元ですっかり定着した。

その観光学部が2019年4月、新たなスタートを切った。観光学部観光学科に衣替えした。

21世紀最大の産業といわれる「観光産業」。それに貢献するために「様々な観光分野でマネジメントができる人材を育む」「アジア地域などで活躍できるグローバルな観光人材を育む」「旅プランナー、ホテルマネージャーや地域プランナーなどを育む」を目指し、実践している。授業・研究では「観光学」を基礎とし、「観光メディア」「観光ビジネス」「観光まちづくり」という3つの柱を立て観光人材の育成に励む。ホテル、エアラインなどグローバルな観光産業の第一線で活躍してきたリーダーが講師陣に控える。

国際的観光地の鴨川市に立地している大学だからこそ取り組むことができる「地域」へのフィールド調査やプロジェクトを通じ、観光まちづくりを体感的に学べるのが特色だ。行政、地域の人々との協同による実践教育を展開している。

提携 木更津東高校と

2018年12月5日、観光学部と千葉県立木更津東高校が、両校の間で出張講座などを行う教育提携調印式を行った。安房キャンパスでの調印式で倉林眞砂斗学部長は「人口が減少する中で、観光地であるこの地域のこれからを担う人材育成が求められている。一方で、日本を訪れる外国人観光客数が3000万人を超える見込みのなか、インバウンドも担える人材が必要だ。このようになさざまな視点から観光人材を育成していきたい。今回の教育提携を通して、南房総の観光や地域振興を担う人材育成のための新たな教育の場づくりを目指したい」と述べた。



調印を終えて記念撮影する倉林学部長（左）と木更津東高校の座間弘之校長

と述べた。

座間弘之校長は「県南にある女子高として、女子高ならではの人材育成や、生徒一人ひとりの力を伸ばすような取り組みを行ってほしい。本校ではグローバルな視点で地域貢献できる人材を育成する『グローバルスクール』ということを中心に前面に出して教育を行っている。今回の提携を通して、本校の生徒の学習活動を活性化できるものと大きな期待をしている」と述べた。

観光学部では、地域の観光施設などと連携した実践的な教育を行うっており、今回の教育提携により、今後、観光学部で実施する教育研究活動への木更津東高校の生徒の参加や、木更津東高校への出張講座の開催など、地域に根ざした人材育成を推進していく。

木更津東高校は1910年創立で、女子生徒475人が普通科と家政科で学んでいる。

包括的地域連携協定

この提携に先立ち、2018年3月には「館山信用金庫と南房総観光連盟との包括的地域連携協定」を締結している。協定提携により、南房総地域の観光・産業の振興及び観光の人材育成をはかることに

より、地域経済の発展並びに地域社会の活性化を実現する。

館山信用金庫本店で行われた調印式で、倉林観光学部長代行（当時）は「この協定を新たなプラットフォームとして、地域の活性化や観光立国・少子化の中で活躍する人材育成に努めたい」との抱負を語った。今後、観光コース等の商品開発やそれぞれのネットワークを活用した国内・海外への情報発信、観光立国・少子化の中で活躍する人材育成など、広範囲な分野で連携していく。

鴨川DEクルージング

豊かな自然、人情あふれる鴨川地区。地元の方々と密着した「道の駅」プロジェクトも盛んだ。その一つに「鴨川DEクルージング」がある。

7月16日の海の日、道の駅「鴨川オーシャンパーク」との連携企画である「鴨川DEクルージング」を開催した。30度を超える猛暑の中、心地よい海風を受け、夏本番を感じるクルージングとなった。乗船した方々からは、「学生ガイドの案内が良かった」「また乗りたい」などの声もあがった。「道の駅プロジェクト」は、



「交流DAY」の様子。会場には亀田鴨川市長（右）の姿も

など盛りだくさんの内容で賑わった。今回は新たな試みとして、「100%電気自動車LEAF試乗会」が行われ、エコカーでの爽快ドライブを体感してもらった。また、オープンキャンパスが同時開催され、多くの高校生に観光学部が日頃から学んでいるホスピタリティ精神を体験してもらう良い機会となった。

さくらウオーキングin 嶺岡中央林道

観光学部は、創設された2006年に「嶺岡林道桜並木修復プロジェクト」をスタートさせ、学生たちが嶺岡林道の自然、歴史、文化について学び、地元地域の方々とともに環境について考えながら、桜並木の修復整備を行っている。嶺



お点前を披露する茶道サークル

岡林道は、創立者の三喜男先生の生家の前を通る。2018年は、4月4日に「第12回さくらウオーキングin嶺岡中央林道」を開催し、新入生を中心とする観光学部の学生と市民の約60名が、陽春の林道散策を楽しんだ。参加者は、安房キャンパスを出発してから太海駅や魚見塚一戦場公園を経由し、三喜男先生の生家までの約12kmのコースを歩いた。ゴール地点の生家では茶道サークルによる野点が開かれ、茶道のお点前が披露されて参加者はお茶とお菓手に舌鼓を打った。

岡林道は、創立者の三喜男先生の生家の前を通る。2018年は、4月4日に「第12回さくらウオーキングin嶺岡中央林道」を開催し、新入生を中心とする観光学部の学生と市民の約60名が、陽春の林道散策を楽しんだ。参加者は、安房キャンパスを出発してから太海駅や魚見塚一戦場公園を経由し、三喜男先生の生家までの約12kmのコースを歩いた。ゴール地点の生家では茶道サークルによる野点が開かれ、茶道のお点前が披露されて参加者はお茶とお菓手に舌鼓を打った。

千枚田で「柵田の夜祭り」

鴨川市内にある「天山千枚田」は、東京から最も近い柵田である。そこで毎年、「柵田の夜祭り」があり、観光学部の学生らがボランティアスタッフとして参加している。2018年は、10月26日にかけて行われた。このイベントは、南房総の里山風景を活かした地域活性化活動の一環として開催されており、学生たちは「地域資源」の活用方法を学ぶという視点を持って、毎年、授業（フィールド基礎演習）の中で協力している。

大山千枚田は、鴨川市のグリーンツーリズム（農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動）を実践する体験型の柵田で、観光学部では、都市と地方の交流の場である大山千枚田を教室と見立て、1年を通じてフィールド教育を実施している。収穫の終わった秋、柵田の観光活用について実体験を通じて学ぶ。

地域とスポーツ 野球大会の運営支える

観光学部が運営を支えているのが「野球大会」である。毎年「水田杯中学校野球大会」が開催される。2018年3月に行われた第5回大会は、晴天にも恵まれ、参加校16校、11チームが熱戦を繰り広げた。

まず、4グループ（4会場）に分かれてリーグ戦を行い、二日目には各順位グループでトーナメント戦及び交流戦を行った。決勝戦では、下総・大栄・公津の杜中学校の猛打が爆発して12-4で勝浦中学校に勝利し、初優勝を飾った。下総・大栄・公津の杜中学校は、異なる学校の連合チームだったが、昨年の準優勝（下総・大栄・吾妻中学校）に続き、今大会も好成績を取めた。

大会会長の石毛宏典・城西国際大学特任教授から、「野球は努力と工夫を続けること、仲間を大事にすることが大切です。これから是非野球を続けていってくださいい」と選手たちにエールが送られ、大会の幕が閉じられた。

鴨川地区の「夏の風物詩」になっているのが、「水田杯少年野球大会」。2018年の第8回大会は、7月7日、8日に開催され、12チームが熱戦を繰り広げた。JOSA I安房ラーニングセンターで開催された開会式では、出場チームを代表して鴨川リトルベアーズの村上竜矢主将が、「日頃の練習の送り迎えや、真っ黒になったユニフォームを真っ白になるまで洗ってくれるお父さん、お母さんに感謝し、一杯グラウンドの上でプレーすることを誓います」と選手宣誓。

交流DAY

毎年秋には交流DAYが行われる。2018年は11月18日に「第13回ウェルネス交流DAY」を開催した。交流DAYは、地域の方々と交流を行う場であるとともに、学生自らがイベントを主催し、準備・運営を行う学びの場となっている。

今回のテーマは「JIUの小旅行」であり、異国情緒を感じられるイベントが実施された。開会式では亀田郁夫鴨川市長も出席し、祝辞を述べた。メインステージでは、「第2回JIU安房キャンパス観光親善大使総選挙」が実施され、会場を盛り上げた。さらに演奏、ダンス、バザー、研究発表、抽選会

ムを真っ白になるまで洗ってくれるお父さん、お母さんに感謝し、一杯グラウンドの上でプレーすることを誓います」と選手宣誓。初日は観光学部総合グラウンドをメイン会場として、4グループ（4会場）に分かれてリーグ戦を行い、二日目には準決勝と決勝を行った。決勝では、北条スターズが最終回に驚異の粘りを見せて4点差を追いつき、延長戦へ。タイブレーク（一死満塁からスタート）の末、押し出し四球により11-10で那古ニュースターズがサヨナラ勝ちし、初優勝を飾った。

毎年、この大会と上記の「中学校野球大会」は、観光学部軟式野球部の学生が、準備から運営までを担当している。今回の「少年野球大会」は、1年生がマレーシア研修で不在のため、2・3年生のみの14人という少人数ながら、4会場で審判、アナウンス、グラウンド整備、片付けなど、全力でプレーできる環境づくりに貢献。学んでいるホスピタリティの精神とスポーツツーリズムの実践の場となっている。

安房グローバルヴィレッジ(AGV)

教育環境の充実に取り組んできた城西国際大学は、宿泊施設の「安房ラーニングセンター」に続き、2015年9月、国際学生寮を建設した。国際教育の推進が目的で学校法人城西大学の創立50周年事業の一環として取り組んだ。

城西国際大学の歩み

- 1965年 ● 学校法人城西大学設立認可
- 1992年 ● 城西国際大学開学
経営情報学部経営情報学科、人文学部国際文化学科開設
- 1996年 ● 人文学部福祉文化学科・国際交流学科開設。大学院人文学部研究科国際文化専攻・女性学専攻修士課程開設
- 1998年 ● 大学院人文学部研究科比較文化専攻博士後期課程開設。経営情報学研究所起業マネジメント専攻修士課程開設。留学生別科日本文化専修課程・日本語専修課程開設
- 1999年 ● 経営情報学部国際経営学科・福祉環境情報学科開設
- 2000年 ● 大学院経営情報学研究所起業マネジメント専攻博士後期課程開設
- 2001年 ● 経営情報学部サービス経営システム学科、人文学部メディア文化学科開設。留学生別科ビジネス・情報専修課程開設
- 2002年 ● 大学院人文学部研究科福祉社会専攻・国際アドミニストレーション専攻修士課程開設
- 2004年 ● 安房キャンパス開設
薬学部医療薬学科開設。福祉総合学部福祉文化学科・福祉経営学科開設（人文学部福祉文化学科、経営情報学部福祉環境情報学科）。JOSAI安房ラーニングセンター開設。JIU安房ラーニングセンター開設
- 2005年 ● 東京紀尾井町キャンパス開設
経営情報学部総合経営学科開設（経営情報学部経営情報学科・国際経営学科・サービス経営システム学科の統合による）。メディア学部メディア情報学科開設（人文学部メディア情報学科の改組による）。大学院ビジネスデザイン研究科ビジネスデザイン専攻修士課程開設。大学院福祉総合学研究所福祉社会専攻修士課程開設
- 2006年 ● 観光学部ウェルネスツーリズム学科開設。薬学部医療薬学科（6年制）開設。シニア・ウェルネス大学開学（シニア層向けコース）
- 2007年 ● 福祉総合学部福祉総合学科開設（福祉総合学部福祉文化学科・福祉経営学科を統合）
- 2008年 ● 人文学部を国際人文学部に改称
- 2010年 ● 環境社会学部環境社会学科開設
- 2011年 ● メディア学部映像芸術コース開設。
- 2012年 ● 看護学部看護学科開設。大学院薬学研究科医療薬学専攻修士課程開設。高円宮殿下記念スポーツパークが完成
- 2013年 ● 大学院国際アドミニストレーション研究科国際アドミニストレーション専攻、人文学部研究科グローバルコミュニケーション専攻開設。紀尾井町キャンパス3号棟完成
- 2015年 ● 学校法人城西大学創立50周年
- 2016年 ● 福祉総合学部理学療法学科開設
- 2017年 ● 杉林堅次学長が就任。創立25周年
- 2019年 ● 観光学部ウェルネスツーリズム学科を「観光学部観光学科」へ

戦後の混乱期に経済復興と成長に精力を傾けた元大蔵大臣・水田三喜男の評伝『水田三喜男伝 寒椿』（2700円）Ⅱ写真Ⅱが、学校法人城西大学出版会から出版されている。筆者は、元毎日新聞政治記者で最後の水田番記者だった。本書は、「人間・水田三喜男」「政治家・水田三喜男」「財政通・水田三喜男」「教育者・水田三喜男」の4部から成り、ウソをつかない、人の悪口を言わない、そんな稀有な政治家・水田の素顔を豊富なまじりで明らかにしている。

大蔵大臣と党政調会長を各7回務め、「財政の水田」として名を馳せた水田が、政治家を目指す原点は敗戦だったという。「無謀な戦争で国土が荒廃し、人材が失われ、国民の力がなせるのを見て「これはいかん」と日本の再建を真剣に考えた」のだ。1971年のニクソン・ショックから変動相場制への移行という通貨戦争は、最後の蔵相として迎えた。虚々実々の駆け引きをつまびらかにするくだりは、息をつかせない。国内の非難に耐えて、水田は「憎まれ役」の蔵相を誠心誠意務め上げた。

教育者としての水田は、今年創立50周年を迎えた城西大学の創立者として知られる。千葉県房総半島の村に生まれ、関東大震災後、旧制高校に入る前に一時、地元の小学校で代用教員をしたことが教育に関心を持つきっかけだった。こんな言葉を残している。「政治家としての水田は、い

ずれ時が経つにつれて忘れ去られるだろう。水田は政治家である以上に立派な教育者でありたい」

「水田は比類なき勉強家であり、これに見る清廉な政治家だった。そして政治に正義と共通善を求め、求道家でもあった」と、筆者は書いている。国内外の経済状況は先行き不透明だ。政治家の劣化も言われる昨今、水田は今の日本をどう見ているだろうか。

年	月	出来事
1905	4月	千葉県安房郡曾呂村に出生
1912	4月	曾呂村尋常小学校入学
1924	3月	千葉県立安房中学校卒業
1931	3月	旧制水戸高等学校を経て京都帝国大学法学部卒業
1946	4月	第22回衆議院選挙で自由党から出馬、初当選
1955	11月	自由民主党結成、初代政調会長
1956	12月	石橋内閣、通産大臣
1957	2月	岸内閣、通産大臣
1960	7月	第1次池田内閣、大蔵大臣
1960	12月	第2次池田内閣、大蔵大臣
1965	1月	城西大学創立、初代理事長
1965	4月	城西大学開学式、初代学長(理事長兼務)
1966	12月	第1次佐藤内閣、大蔵大臣
1967	2月	第2次佐藤内閣、大蔵大臣
1970	3月	自民党政調会長
1971	7月	第3次佐藤内閣、大蔵大臣
1972	1月	日米首脳会議(佐藤栄作首相、水田三喜男蔵相、福田赳夫外相、田中角栄通産相)
1976	4月	勲一等旭日大綬章叙贈
1976	12月	病氣にて急逝、享年71歳

と 露 の う

創立者 水田三喜男の伝記

水田三喜男の足跡を辿る

り、嶺岡山は、わが国酪農の発祥地として知られている。

母屋、長屋門は、百数十年以上経て居り、貴重な文化財として、文化庁に登録されている。「学問を通じての人間形成」は建学の理念となった。その母胎こそ、まさに、この家屋なのである。

生家付近には外房と内房を結ぶ嶺岡林道が走り、水田先生は林道保全と郷土の活性化を願い、500本の桜を植栽した。その桜は「水田桜」として親しまれてきた。毎年春、さくら祭りが行われ、桜が植樹されている。さくら祭りに先立つて「ウオーキングin嶺岡中央林道」があり、学生や地域住民らが安房キャンパスから生家までの約12キロを歩く。

「特集」観光学部

「観光学部は「21世紀を担う観光人材の育成」を掲げています。その教育方針・理念は？」

「観光」とは、そもそも「光を当てて、観る」という意味だと思えます。ここに立ち返り、時代に見合う新しい観光価値を見出し、ということが理念です。

具体的には「観光まちづくり」、「観光ビジネス」、そして「観光メディア



倉林眞砂斗 観光学部長

2016年の統計では、世界の旅行人口は12億人、観光産業はそのGDPの10%を占めていると言われています。10人のうち1人が観光関連産業に雇用されています。もともと伸びるでしょう。ドイツ人が旅行に出る時、平均して「10:5泊」は宿泊します。その方、日本人は「1:5泊」という統計があります。それを見ても、今後、日本人の宿泊数を伸ばす余地があります。いま、盛んに言われ

ている「働き方改革」に沿えば、無駄な残業を減らし余暇を増やす。旅行に出る機会も増える、ということ。観光関連産業も活気づきます。

「観光学科」に学科名を変えた理由は？

2006年に観光学部・ウェルネスツーリズム学科、としてスタートしたのは当時としては大きな意味があった。しかし、時代が経つにつれて「観光」の概念が広く、深くなってきました。「ウェルネスツーリズム」という特定の領域を掲げるだけでは、とらえられなくなってきました。

南房総の特色を生かした観光、という点を考えてみたい。この地域には、京都、奈良、金沢などのように観光客が自然に集まるような、だれもが知っているような「大観光地」はありません。しかし、地元の「朝どのイワノリの味噌汁」といった食べ物、農業・林業体験ができることや珍しい行事など、キラリと光る多

種多様な観光資源が散在している。首都・東京から、そこにはないものを求めて気軽に日帰り、1泊して南房総を楽しむ「ウイークエンド・ツーリズム」を盛んにしたいですね。

「ウイークエンド・ツーリズム」を支える観光資源を掘り起こし、研究し、発信していく「観光学」が必要なのですね。「観光メディア」を学ぶことがつながっていきますね。

房総（千葉県）には、あまり知られていない特色があります。県全体の平均標高が43メートルと全国で一番低い。沖縄が2位です。高山はなく、低い丘陵群が広がり、その丘陵に隔てられた「小世界」がいくつもあ

「一言で言い表せないものがたくさんある」という房総の特色が十分に生かされていません。これを観光地として見出し、飛び石のようにつなぎ、連携して、「箱」にして発信することで。つまり、動きやすいようにラインを「見える化」すれば強みになります。いまはスマホもあるわけですから、「ウイークエンド・ツーリズム」にふさわしい形で、情報をリアルタイムで発信できます。

城西国際大学の観光学部は、そうした房総の特色を活用しながら、21世紀最大の産業といわれる「観光産業」を担う観光人材を育成していきたい。

「観光学部・ウェルネスツーリズム学科は、4月から観光学部・観光学科に衣替えし、新たなスタートを切った。これを機に倉林学部長に今後の「観光と学び」についてインタビューした。

「」を柱に学生に学んでもらいます。自分の目で見て、経験した現場で、感じたことを大事にする。その意味では、キャンパスのある観光地・鴨川市を含む南房総には、多くの「学びの場」があります。

「21世紀最大の産業といわれるのが「観光産業」です。その実情と今後の展望は？」

2016年の統計では、世界の旅行人口は12億人、観光産業はそのGDPの10%を占めていると言われています。10人のうち1人が観光関連産業に雇用されています。もともと伸びるでしょう。ドイツ人が旅行に出る時、平均して「10:5泊」は宿泊します。その方、日本人は「1:5泊」という統計があります。それを見ても、今後、日本人の宿泊数を伸ばす余地があります。いま、盛んに言われ

ている「働き方改革」に沿えば、無駄な残業を減らし余暇を増やす。旅行に出る機会も増える、ということ。観光関連産業も活気づきます。

「観光学科」に学科名を変えた理由は？

2006年に観光学部・ウェルネスツーリズム学科、としてスタートしたのは当時としては大きな意味があった。しかし、時代が経つにつれて「観光」の概念が広く、深くなってきました。「ウェルネスツーリズム」という特定の領域を掲げるだけでは、とらえられなくなってきました。

南房総の特色を生かした観光、という点を考えてみたい。この地域には、京都、奈良、金沢などのように観光客が自然に集まるような、だれもが知っているような「大観光地」はありません。しかし、地元の「朝どのイワノリの味噌汁」といった食べ物、農業・林業体験ができることや珍しい行事など、キラリと光る多

施設は鉄骨造り。3階建てと2階建ての宿泊棟をそれぞれ2棟（計38室、収容人数101人）、事務室とキッチン、ラウンジを備えたラウンジ棟、ランドリーとトランクルームなどのサービス棟の計6棟を連結するつくりで、延べ床面積は約2003平方メートル。学生同士や

地域との交流に役立つ空間として、建物で囲んだ中庭を配していることが特徴で、安房ラーニングセンターの東側に建設した。

これまで、観光学部で学ぶベトナム、中国、台湾、ハンガリーなどからの留学生が入居した。

「内房地区」安房キャンパス」スクールバス運行開始

運行曜日 月曜日～金曜日
（授業のある日のみ運行）

往路 木更津駅東口8時5分
発→君津バスターミナル8時25分発→安房

復路 キャンパス9時30分着
安房キャンパス17時発
→君津バスターミナル18時10分着→木更津駅東口18時25分着

耳寄情報 「内房地区」安房キャンパス」スクールバス運行開始

教養の大地を耕せ

地域に根ざした国際大学であるJIUには、様々な分野で研究を行っている研究室がある。今回は、国際人文学部国際文化学科の中川正臣助教の研究室を訪問した。



中川 正臣 助教 国際人文学部国際文化学科

——国際人文学部国際文化学科では、2019年4月、「韓国語コース」、「国際文化コース」の2コースをスタートさせました。先生は「韓国語コース」を担当しています。

「韓国語コース」では1年次より、学科の科目とともに、韓国語が使用される地域の「言語」「文化」「社会」について学びます。この「言語」「文化」「社会」を学び、日韓相互理解のリーダーになるとともに、よりよい社会づくりに貢献できる人材を育むことを大きな目標にしています。——先生と韓国・韓国語との出会いは？ ソウル大学に留学した、と聞いています。

大学を卒業し、警視庁に入りました。国際捜査に携わりたくと上司に申し出たところ、アジア言語を1つ学ぶように言われ、学生時代に第二外国語で学んだ「中国語」の習得を目標に定め、書類を提出しました。ところが上司がそれを「韓国語」と誤って受け取り、以来、「韓国語」学習が付いて回りました。独学で勉強したり、教室で学んでいるうちに韓国人や韓国語教師にどんどん興味を持つようになり、本格的に「韓国語」を学ぶために警視庁を退職しました。2001年1月、ソウルの韓国外国語大学（本学と提携校）に語学留学し、翌年3月にソウル大学の大学院の修士課程（韓国語教育学専攻）に入りました。その後、博士課程まで約10年間、韓国で学び、暮らしました。

——2018年春、城西国際大学の助教になりますが、韓国の大学で教えたことは？ その経験をどう生かして授業、研究を進めますか。

韓国の梨花女子大学（本学と提携）や弘益大学で日本語を教えた後、培材大学で韓国語教育に携わりました。特に、韓国の地方都市にある培材大学では「外国語としての韓国語学科」で韓国語教師養成と留学生に対する韓国語の授業を担当する機会に恵まれました。ネイティブではない私が韓国で韓国語教師養成や韓国語の授業に携

「交流」を実践し社会づくりに貢献できる人材を育む

わることは苦勞もありましたが、多様な背景を持つ学生とともに、専門性の高い授業に取り組んだことは、国際大学であるJIUにも生かせると思っています。JIUの「韓国語コース」では、20以上の専門性の高い科目を開設し、実践研究を通じて学びの質を向上させていくつもりです。

——「韓国語の習得」だけではなく、授業は多岐にわたりますね。

1年次は、韓国語コミュニケーションや韓国現代文化などの基礎科目と韓国語検定、留学プランニングなど留学に備えるための科目があります。また、他大学とは異なる本学韓国語コースの特徴として、韓国語プロジェクトという科目で韓国語を通じた社会的実践を1年次から行う、ということがあります。2年次からは日韓翻訳技法や日韓通訳技法など、より専門性の高い科目が受講できます。昨年、「日韓翻訳技法I」という授業では、「地域社会に貢献するための翻訳」を目標に掲げ、韓国の絵本を翻訳して、水田図書館にその絵本と翻訳作品を展示しました。この翻訳作品は、日本人、韓国人、中国人の学生が協力し、吟味、検討した賜物です。私は、なによりも社会的活動を通じた学び、そして他者との協働を通じた学びを大事にしています。

3、4年次は、日韓比較文化を学んだり、ゼミが始まります。日韓比較文化の比較対象は必ずしも日本と韓国ではありません。韓国以外の韓国語が使用されている地域（北朝鮮、日本、米国、旧ソ連など）の「文化」も含め、文化比較を通じて自身の文化観を形成していきます。また、私が担当するゼミ（別名「日韓交流ゼミ」）では、自分たちが実現できる日韓交流を考え、実践していきます。学内外で日韓交流イベントを立ち上げたり、地域の子供たちに韓国語を教えるのも交流を促進できるでしょう。こういった「交流＝人と人が交わり、流れ出ること」を学生とともに実践し、日韓交流の促進や社会づくりに貢献していきたいと思っています。

JIUに留学しました

ポー・フォンさん 留学生別科



後輩留学生にとって「お姉さん」のような存在

東金キャンパスの留学生別科の事務室で、きびきびと学生に対応している小柄な女性がいる。ポー・フォンさんだ。2018年春から、ここで働く。

ベトナム南部の中心都市・ホーチミン市からバスで2時間ほどかかるドンアイ省に生まれた。伯父（母の兄）が大学などで日本語を教えていた。その影響もあり、早くから日本語に親しみ、大学に進み本格的に日本語を学んだ。ホーチミン市で年1回、開かれる「日本語スピーチコンテスト」で優勝し、1週間の日本旅行（東京・箱根）がプレゼントされた。アニメ、温泉など日本が気に入った。たまたま、ホーチミン市内で日本留学に関する大学説明会があり、それに参加し、2014年4月、JIUの観光学部で留学する。

安房キャンパスの大学生活は充実していた。1年間はアパー

ト、残り3年は、キャンパス内にある「安房グローバルヴィレッジ（AGV）」で暮らした。デビット・ウィリアムズ先生のゼミに所属し「観光英語」を学んだ。そのほか「ホスピタリティ」「観光ビジネス論」など、授業は有意義だった。在学中に日本語能力試験は最高レベルの「N1」に。

「観光学部に入った最初のベトナム人留学生」で、日本に来たばかりの後輩のベトナム人学生の世話をしながら、観光学部の学園祭「交流デー」では、模擬店のベトナム料理の準備やダンスを披露した。

いまの職場の留学生別科には、100人を越える学生が学ぶ。ベトナム人学生が目立つ。本来の事務・相談業務以外にも留学生の世話を焼く。後輩留学生にとっては「お姉さん」のような存在だ。



「思考の筋肉」を鍛えれば伸びる

——自分で考え自主的に行うことが大事

女子駅伝部では2017年4月に大塚正美さんが監督に復帰した。昨年の関東大学女子駅伝対校選手権では、惜しくも「全日本」への出場権をとれなかったが、次回に向けた「手応え」は十分だった。大塚監督は、日本体育大学時代に箱根駅伝で活躍した。経営情報学部で「スポーツの社会学」などの講義を受け持つ。指導理念、選手の育成などについて聞いた。

インタビュー 大塚 正美 女子駅伝部 監督



——2001年から11年まで監督を務め、6年ぶりに復帰されました。全国大会に向け、どういう方針、理念で指導されていますか。

今のチームには「人間力を高めよう」と選手たちに言っています。まず、挨拶をすることから始めます。そしてコミュニケーションの大切さを知ることで、それには言葉力を高め、伝える力を身につける

JIUのスポーツを支えて

ことです。そういう基本的な姿勢、態度が結局はスポーツでの好成績につながります。いま、高校の指導者が選手を怒らなくなった。何かあっても放置しておく。選手は勘違いして「何をしてもいい」となる。放置しないで、的確に指導・指摘をすれば選手は、反省し、直す。そこで自主性が生まれ、練習、試合にも反映されます。——「自分で工夫・研究して結果を残せ。スポーツだけの人間になってほしくない」ということですね。どういう経験から、思うようになったのですか。

水戸工業高校時代の陸上競技部ですね。日体大出身の体育の先生だった関山由雄監督の方針は「自分たちでやれ」でした。部の練習メニューも部員たちが作りま

した。グラウンドでの練習中には、何も言わない。大会に出場する選手も「誰を出場させれば良いか」と部員に意見を聞きます。その一方で、試合・大会が終わると、厳しいミーティングが待っていました。60人ほどの部員全員、一人ひとりに、どこが悪かったか、練習に欠けていた部分などを指摘しました。2時間くらいかかりました。自分たちが自主的に練習メニューを作り、出場選手を決めたわけですから、部員たちに責任があります。先生の指摘で反省し、今度は、さらに飛躍を目指す、ということになります。高校の3年間は先生の自宅に下宿しました。先生の資料や練習試合メモなどがたくさん収納されている部屋をあてがわれ、指導者の姿、指導の仕方を、身をもって教わりました。わたしは「夏

大塚正美監督の経歴

茨城県立水戸工業高校時代、1年生で国体の3000m走で優勝するなど活躍。全国高校駅伝大会には、2回出場し、1年生の時、チームは6位に。1978年に日本体育大学に入学。1年生から4年生まで正月恒例の箱根駅伝に出場し、すべて区間賞を獲得した。1年の時に走った8区で区間新記録、4年の時は2区で区間新記録を樹立、この記録はそれぞれ15年間、13年間も破られなかった。2000年秋に城西国際大学の教員に。女子駅伝部の監督として全日本女子駅伝では、2006年に3位に導いた。現在、経営情報学部教授で「生涯スポーツ概論」、「スポーツ社会学」などが専門。

に弱い体質」でした。先生は、母校の大学の選手を訪ねて、それを克服するにはどうすれば良いのか、を聞いてくださりました。「指導者はそこまで気を配るのか」と思いました。——部員や学生にアドバイスしたいことはありますか。分かっていくかもしれませんが、わたしは「努力」という「筋肉」と「素質」という「筋肉」の間に、違う「筋肉」があると思っています。ここを鍛えれば、伸びます。思考の問題です。最初から「素質がない」などとあきらめてはだめです。それに自分で「壁」を作ってしまうケースもあります。「これ以上努力しても壁（記録）は乗り越えられない」と思い込む。そうではなく、「いろんなことをやってみる。失敗を恐れるな。やらなければ分からない」ということです。思考の問題です。失敗を恐れないと、その「筋肉」が鍛えられず、何も生まれません。自分で考えて、自主的に行うことが大事です。例えば「海外に留学に行きたい。研修に参加したい」というような部員が出てくるのを期待しています。老子もしくは荀子の格言なども伝えていきます。——「聞いたことは、忘れる。見たことは、覚える。やったことは、わかる。」

川 photo 散歩 百景

樹齢200年の姿ぶりの「イヌマキ」の木



銘木

ここにあり

東金キャンパスのスクールバスの発着所に、姿ぶりが良い「イヌマキ(犬槇)」の木が立つ。千葉県の県木である。推定樹齢200年。

この木は、創立者・水田三喜男先生の千葉県館山市内の自宅に茂っていた。1997年(平成9年)3月にこの木が寄贈・移植された。しかし、年々、木に勢いがなくなり、ピンチに。15年前、根が生長できるように客土を掘り起こして十分な深度を確保したうえ、黒土を補填した。周りにはサツキが植栽され、5月には満開のサツキが、元気になった槇をさらに引き立てる。

広がる感動の地平線

文化サークル紹介

JIUには、「文化の地平線」も広がっている。大学創立とともに活動をスタートした学友会吹奏楽団を紹介したい。

学友会吹奏楽団 県コンクールで11年連続金賞



「JIU Festival」での演奏

人々の心を潤す「泉の楽団」

JIU創立とともに活動をスタートした。数々のコンサートをなし、人々の心を潤す「泉の楽団」である。1992年から活動し、もうすぐ創部30周年を迎える。東金キャンパスを拠点に活動し、入学式・卒業式の演出には欠かせない存在だ。紀尾井町キャンパスで始まった「城西大学、城西国際大学、城西短期大学合同大学祭」(3J Festival)でも美しく躍動的な演奏を披露する。

千葉県吹奏楽コンクールでは、11年連続金賞に輝いたこともある。2008年には、初の全国大会出場を果たした。指揮者として率いているのは、JIU5期生の山口聖一さん。千葉県吹奏楽コンクールでたびたび「指揮者賞」を受賞している。日曜日は、全員がキャンパスに集まり、山口さんの指導で練習する。それ以外の日は、個人練習だ。



千葉県アンサンブル大会で演奏するOB/バンド「万葉の杜吹奏楽団」

演奏会などでは、千葉県内・県外から卒業生の「楽団OB」が集まり、現役の演奏をサポートする。その「OBバンド」は「万葉の杜吹奏楽団」。キャンパスの「万葉の杜」(20に紹介)から名付けられた。現役時代はここでも練習したという。2018年12月に行われた千葉県アンサンブルコンテスト一般の部で23団体中2位の成績を収め、東関東大会に進出し、25団体が出場する中、みごとに「銅賞」に輝いた。

「OBの活躍も目立つ吹奏楽団だが、悩みのタネは、近年の現役部員の減少だ。現在、3人を数えるだけになった。山口さんは「次代のリーダーとなるOBの育成とともに現役部員の育成に尽力していきたい」と話す。これまでも大学生になつてから楽器を手にした初心者が多く入部し、育つていった。

山口さんらOB部員たちは「初心者、大歓迎です。懇切、丁寧に指導します」と「プラスの門」をたく新入部員を心待ちにしている。

地域に開かれた大学美術館

水田美術館

城西国際大学水田美術館は、創立者の水田三喜男が収集した浮世絵と近代日本画200点余りからなる「水田コレクション」と、千葉の風景やゆかりの物語が描かれた浮世絵と近代木版画を中心とした「JIUコレクション」を所蔵している。

浮世絵関連の企画、山武地域を中心とする千葉ゆかりの文化の紹介、学部・学生との連携を3つの柱として、企画展、および講演会やギャラリートークなどを開催している。

森洋子の空想化石はくぶつかん 絵本原画と大石化石コレクション

5月14日(火)～6月22日(土) 日・月休み



森洋子「空想化石はくぶつかん」原画

水田コレクション展 浮世絵の技巧

7月9日(火)～27日(土) 日・月休み



鈴木春信(六玉川 調布の玉川)

エアギター世界選手権

優勝

2度制覇

でかした先輩



母校での「凱旋パフォーマンス」を披露する名倉さん＝2018年12月

なぐらななみ
名倉七海さん

2018年3月
メディア学部卒業

女優・エアギタリストとして活躍中

名倉七海さんは2018年8月、フィンランドで開催された「第23回エアギター世界選手権」で優勝した。名倉さんは、城西国際大学に入学した2014年にも同大会で優勝しており、今回が2度目の優勝となる。名倉さんは、いま、芸能プロダクションの大手、太田プロに所属し、女優とエアギタリストとして活躍している。高校2～3年生の時に、「エアギター・アイドル」という五人組のグループで活動、そこでエアギターと出会った。オモチャのギターを持って歌って踊っていたグループだったが、ある時、エアギター選手権というのがあるから目指してみようということになった。しかし、グループは解散してしまい、それから1人でスタジオにも行って黙々と練習した。

アイドル・グループの曲用のレッスンは週に1～2回あり、ダンスの指導も受けていた。エアギター日本協会の会長に少し教わった。2014年に優勝した時の自分の動画を見ると「あんまりエアギターしてないな、結構ダンス要素が強いなと、思った」という。そして、今回の2度目の優勝である。使



エアギターの楽しさと、大学時代の思い出などを語る名倉さん（大学HPに詳細なインタビュー記事が掲載されています）

う曲のギタリストのライブ映像とかを見てこの音のとき、こうやって弾いているとかを研究した。オーバーに飛び跳ねたりするのをやめて、ギター感を重視して取り組んだという。

名倉さんは「次回は、ディフェンディングチャンピオンとしてシードで行けることが決まっているのですが、次は何やろうと、優勝した瞬間から考えています」という。

最後に後輩の学生たちにアドバイス。「もっと英語の勉強しておけばよかったと思います。やりたいことはどんどんやった方がいいということ、大学時代って、いろんなこと後回しにしてしまうと思うのですが、面倒臭いから後でやればいいや、とか、そういうのはやめた方がいいと思います。授業もしっかりと聞いて、英語とかも、もっとちゃんと勉強しておけばよかったと今、思う。後回しにしないで、ちゃんとやってくさい、っていうことかな」



メディア学部を卒業後、米国の映画産業の中心地であるハリウッドに渡ってメイクアップ・アーティストを目指していた宮本華緒（Kao Miyamoto）さんが「Los Angeles Film Awards 2018」において「Best Makeup」を受賞した。「Kommando 1944」という作品の写真で、映画は1944年7月、ドイツ軍の捕虜となった日系アメリカ人兵士の物語。350以上の国際映画祭や国内の映画祭に出展している。宮本さんは、在学中1年間、米国



撮影現場で仕事中の宮本さん（左）

Kao Miyamoto
宮本華緒さん
2017年3月
メディア学部卒業

の大学に留学。卒業後、単身ハリウッドに渡りメイクアップを学んだという。メディア学部の教員らは「メイクアップ員は「メイクアップ」は、2018年のアカデミー賞で「ウィンストン・チャーチル ヒトラーから世界を救った男」で特殊メイクを担当した日本人アーティストの辻弘氏が、メイクアップ&ヘアスタイリング賞を初受賞しており、日本人の活躍できる分野。今後の宮本さんの活躍が期待できる」と評価する。

Los Angeles Film Awards 2018
「Best Makeup」受賞

でかした先輩

川百 photo 散歩 風景

Focus
水田記念図書館

キャンパス
点
描



学問・研究を全方位で支える充実の環境



「花を咲かせる土になれ」



二 嶋 浩 二
松山城南高校教諭・
自転車部監督
2005年3月 経営情報学
部卒業

愛媛・新田高校では野球部の練習に明け暮れました。JIUに進学したきっかけは、河上國男さん（観光学部軟式野球部監督）にお声掛け頂いたからです。大学時代も硬式野球部でプレーをしました。原田勝美監督は、非常に厳しい方でしたので、4年間、本当に苦しい練習でした。主将として悩み、苦しみ、涙したことも多かったように思い

ます。心身ともに、本当に鍛えられたと、感謝しています。就職の道を選び、いま、松山城南高校に勤務しています。部活動は、野球ではなく、自転車競技部の監督をやっています。自転車競技部は2016年度に創部されたばかりですが、小・中学時代に活躍した4人が入学しました。厳しく指導しました。その甲斐あり、2017年の全国高校総体（インターハイ）で完全制覇し、18年も総合優勝した。18年度の主な成績を紹介します。すと、アジア自転車競技選手権・男子ジュニアロードで優勝、全

日本自転車選手権大会ロードレース男子ジュニアで第1位（2年連続）などです。選手は、アジア選手権、世界選手権やネイションズカップなどの国際大会にも代表として参加、好成績を収めています。選手たちは東京五輪出場も視野に入れているでしょう。こうした経験を踏まえ、後輩たちには「世の中に、また社会に求められる『じんさい』へと成長して行ってください」と言いたいですね。「じんさい」とは、漢字では「人材」と書きますが、組織の一員として「この人は必要ない、早く辞めてもらいたい」などと思われようであれば、それは「人罪」ではないか、と思えます。また、「居ても居なくても変わらない」と思われるようなら、それは「人不在」です。つまり、ただ組織の中に存在しているだけ、の人だと思ってしまう。皆さん一人ひとりが「絶対

に居てもらわないと困る、必要な人」になった時、人財——まさに組織の一員として絶対に欠かすことできない財産——となるのだと思うのです。最後に、「花よりも花を咲かせる土になれ」という言葉を覚えておいてほしいと思います。世の中に出ても、時として太陽の光の下で輝く者、またそうでない者が出てきます。もちろん、状況が変われば立場が逆転することもありますが、大切なのは、その状況で各々が各々の立場の気持ちを考えて行動することです。花はそれを咲かせる土がなければ、咲くことはありません。咲かせてくれる土があつてこそ、初めて花は咲くのです。常に相手の立場に立ち、「皆さんが周りを花にできる」、そんな社会人へと成長して欲しいと思います。城西国際大学で学ば後輩たちが幸せ多き人生になるよう、切に願っています。

言葉と文化 「広く日本を学んでほしい」



羽鳥 美有紀
語学教育センター
助教
2004年3月 国際人文
学部国際交流学科卒業

「国際大学」に魅かれました。いろんな人に会いたい。留学生や外国の先生が多数いるJIUで学びたい」と茨城県立竜ヶ崎南高校を卒業後、2000年4月に入学した。3年生の時に米国のUCR（カリフォ

ルニア大学リバーサイド校）に1か月の研修に参加。「もつと留学したい」と卒業後、カナダのプリティッシュ・コロンビア大学に約10か月間、個人留学し、見聞を広げるとともに英語力を磨きかけた。2006年11月、日本航空に就職し、成田空港で地上勤務。チェックイン・カウンタ、ラウンジで働き、また、マナーなどを教える社員教育も担当した。日本航空時代、同僚に外国人スタッフも多く、一緒に働く中で、ビジネス慣習の違いを感じ、「日本語だけでなく、日本の文化や慣習など

大学院の「グローバルコミュニケーション専攻（修士課程）」に入った。研究テーマは「おもてなしの日本語」。日本語教師として台湾に短期派遣されたことも。卒業論文は「日本企業で働く日本人社員と外国人社員のずれ」がテーマだった。そして修士取得後、2015年9月から3年間、中国・瀋陽市にある提携校の東北大学で日本語の専任講師に。日本語の授業と学生との交流——。中国の学生との間でコミュニケーションとして役立ったのは、

JIU時代の課外活動でたしなんだ華道と茶道だった。厳冬期には零下30度にもなる中国・東北部。そこでの大学寮での生活を終え、いまは東金キャンパスに戻り、留学生らに日本語を教える。ハンガリー、フランス、マレーシア、中国、韓国、台湾……学部の留学生の出身国はさまざま。また、「留学生別科」でも授業を受け持つ。「言葉だけではなく、広く日本の文化も学んでほしい。」「おもてなしの日本語」の教材や単語カードを作り、日常会話、敬語も分かりやすく教える。



インタビュー 三宅 英雄 元東金商工会議所会頭



〔略歴〕1930年（昭和5年）生まれ。1948年（昭和23年）、成東中学（現千葉県立成東高等学校）卒業。東金商工会議所会頭を2002年10月（平成14年）から2011年7月（平成23年）までつとめる。現在、同商議所顧問のほか、J I U協会の会長、東金警察会議所会長、管内治安対策会議所会長、千葉県商工会議所副会長など。

——三宅さんは、2008年に発足した「JIU協力会」の発起人代表であり、その会長に就任されました。設立総会では、「地域発展のためにもJIUを支援していきたい」と述べられています。あれから10年が経ちます。

大学や学生を支えていく重要な同志と考えております。大学が設立された30年ほどの東金市の人口は、約4万7000人でしたが、現在では6万人となっております。若い学生の増加は、地域に大きな活力を与えます。この活力が地域発展の潜在力になっていると確信しております。

——三宅さんが会頭をしておられた商工会議所から見て大学が存在する「経済的な意味」もありましたか。

わたしは、いま会議所の顧問で、責任ある立場からは離れています。会頭時代も含めて考えてみますと「経済的意味」は、直接的には「消費人口も増加」による「経済効果」でしょうか。多くの学生や大学関係者が東金市や周辺地域に居住し、滞在しております。日常生活に伴う衣食住をはじめ、交通・医療・娯楽などに関わる「経済的効果」にとどまらず、文化的、学術的、スポーツ面など広範なプラスの影響をもたらしていると考えます。市民にとっては「JIUがあつてよかった」と、このような市に住んでよかった」と考える人々が多くなっていると思えますし、

「市民意識」の活性化につながっています。開学以来、地域社会との連携・貢献活動も活発に行っております。看護学部の学生が、東金九十九里地域医療センター（東金市）から奨学金をいただいで毎年多数の卒業生が、東千葉メテイルセンターに奉職しております。特色を生かし「福祉」「看護」「薬学」の連携による地域貢献も目指しています。今後の大学との地域の連携・協力についてご意見は？

——JIUは、地域の「知的拠点」になることを目指しています。開学以来、地域社会との連携・貢献活動も活発に行っております。看護学部の学生が、東金九十九里地域医療センター（東金市）から奨学金をいただいで毎年多数の卒業生が、東千葉メテイルセンターに奉職しております。特色を生かし「福祉」「看護」「薬学」の連携による地域貢献も目指しています。今後の大学との地域の連携・協力についてご意見は？

——JIUは、2022年に創立30周年を迎えます。JIU協力会、元商議所会頭の「目」から見て、今後に向け、大学へのアドバイスを。

商工業者のもとよりすべての産

地域は大学の重要な同志 「実学」通して住民との交流を

——三宅さんは、2008年に発足した「JIU協力会」の発起人代表であり、その会長に就任されました。設立総会では、「地域発展のためにもJIUを支援していきたい」と述べられています。あれから10年が経ちます。

わたしは、いま会議所の顧問で、責任ある立場からは離れています。会頭時代も含めて考えてみますと「経済的意味」は、直接的には「消費人口も増加」による「経済効果」でしょうか。多くの学生や大学関係者が東金市や周辺地域に居住し、滞在しております。日常生活に伴う衣食住をはじめ、交通・医療・娯楽などに関わる「経済的効果」にとどまらず、文化的、学術的、スポーツ面など広範なプラスの影響をもたらしていると考えます。市民にとっては「JIUがあつてよかった」と、このような市に住んでよかった」と考える人々が多くなっていると思えますし、

——JIUは、2022年に創立30周年を迎えます。JIU協力会、元商議所会頭の「目」から見て、今後に向け、大学へのアドバイスを。

東金の歴史散歩 江戸時代

——希少な文化財「御成街道」、市発展の礎「雄蛇ヶ池」

徳川幕府は、東金を直轄領とした。それを象徴するのは「御成街道」である。東金と船橋を結んだ。徳川家康が鷹狩に来るためつくられたとされる。将軍が休息・宿泊するために船橋や千葉に御殿が設けられた。東金周辺にも、東金御殿、土気御殿も造られた。東金御殿の跡地は、桜の名所として知られる八鶴湖に隣接し、現在、千葉県立東金高校の校舎が建てられている。

また、東金と沿岸部を結ぶ「御成新道」もつくり、東金には九十九里の海産物や周辺の産品なども集められた。ここから江戸へ運ばれ、東金は集散地として発展し、「上総の黄金町」とうたわれた。

「御成街道」は、明治維新後に各所で分断されたが、一部は県道などとして現存している。江戸時代には、全国の主要街道に一里塚が設置されたが、「御成街道」にもあった。一里塚とは、街道沿い一里ごとに設けられた里程標で、船橋から東金までの街道を

まっすぐに結ぶための、目印として築かれたと考えられる。東金市に隣接する八街市には「御成街道の一里塚」として希少な文化財として、市の指定史跡となっている。

また、東金の発展の基礎になった「雄蛇ヶ池」だ。「おんじゃ谷」という深い谷に長い堤防を築いて水を止める方法で1604年（慶長9年）から10年かけて造られた。「おんじゃ谷」にちなみ「雄蛇ヶ池」と名付けられた。やがてこの貯水池の水が東金の大地を潤し、原野が開墾され、肥沃な農地に変わっていく。のちに「房総の十和田湖」との異名もつた。東金の「にぎわい」は、多くの文人墨客を引き寄せた。その一人、思想家で農政家でもあった佐藤信淵は、一時期、東金（大豆谷）で農業に従事し、農学の種類調査・実験・観察をくり返したという。

（東金市発行の『東金讃歌』資料などを参考）

同窓会から

□ 問い合わせ
 ☎ 0475-53-2141
 (月～金 9時～17時 ※ただし火曜日)

城西国際大学の同窓会は、第1期の卒業生を送り出した1996年に創設され、同窓生の数は、今や21000人に達している。在学学生への支援、キャンパスの整備など、母校のサポートはもとより、大学祭での模擬店出店など同窓生と大学とのより強い結びつきを目指している。

近年は、福祉関係に従事する卒業生を集めた会を設立し、勉強会を開催したり、特別に会員が集まれる場所を提供したりするなどして、会員相互の親睦をはかる取り組みも盛んに行われている。同窓会事務局は、東金キャンパスの本部棟4階にある。

城西国際大学 同窓会・青柳吉彦会長 ごあいさつ



城西国際大学は、海外との結びつきも強く、海外留学などの勉学はもちろん、硬式野球部、サッカー部、女子ソフトボール部などの課外活動団体が、海外チームとトレーニングマッチを行うなど、国際大学らしい取り組みも行われています。

同窓会は、同窓生の力を結集して母校の発展・名声高揚のお手伝いをしてまいります。さらに同窓生の絆を深めるため、各種コミュニケーションの場をつくり、同窓会の活性化を図っています。

奨学金制度一覧

名称	種別	内容	対象
水田奨学生制度	給付	●優れた能力の伸長と有為な人材の育成を目的として設けられた制度です。成績優秀者で、建学の精神「学問による人間形成」を体する学生を「水田奨学生」、「学習奨励生」及び「成績優秀者」として表彰いたします。「水田奨学生」として選出された者には、奨学金を授与します。	成績・人物が優秀な学生
水田国際奨学生制度	給付	●学生の国際的な学びを奨励することを目的として、提携校への海外留学を経済的に支援する制度です。成績優秀者で、建学の精神を体する学生を「水田国際奨学生」として表彰し、奨学金を授与します。	JEAP制度を利用して海外へ留学する学生
学校法人城西大学経済支援特別給付奨学金制度	給付	●本学の学部生で修学の意志があるにもかかわらず、入学後、家計支持者(学費負担者)のやむを得ない事情による失職または廃業、会社倒産、自己破産等により家計が急変し、学費納入または学業の継続が困難な学部生を支援することを目的として設けられ、選考のうえで奨学金を給付します。	本学に在籍する学部生 (外国人留学生授業料減免の出願資格を有するものを除く)
看護学部奨学金<病院・自治体>	貸与	●卒業後、指定病院に勤務することを前提とした奨学金です。指定病院に貸与年数以上勤務することにより返還が免除されます。 ●金額は病院により異なりますが、多くは年間100万円以上となっています。	看護学部 ※各病院が独自に定める選考があります。
鴨川市人材育成支援制度<授業料減免>	給付	●入学前に鴨川市に1年以上居住し、観光学部に入学者、4年間の授業料30%を減免します。(総額924,000円)	入学前に鴨川市に1年以上居住し、観光学部に入学者
南房総地域人材育成支援制度<授業料減免>	給付	●入学前に南房総地域※に1年以上居住し、経済的に修学困難と認められる者が観光学部に入学者の場合、4年間の授業料30%を減免します。(総額924,000円) ※南房総地域は、南房総市、館山市、鋸南町、富津市、君津市、木更津市、袖ヶ浦市、大多喜町、勝浦市、御宿町、いすみ市となります。	入学前に南房総地域に1年以上居住し、観光学部に入学者。かつ、家計支持者の前年度年収が500万円以下、または兄弟が大学に在学中の第2子以下の場合には年収が800万円以下の場合に申請資格を有します。
社会人のための特別奨学生制度	給付	●修学期間を4年間として卒業をめざす場合に限り4年間の授業料および施設設備費を50%減免します。	AO方式による社会人入学試験に合格した者 ※看護学部、薬学部、福祉総合学部理学療法学科では実施していません。

★特待生制度の詳細内容については本学Webサイトをご確認ください。※奨学制度の内容は、今後変更となる場合があります。

地域とともに スポーツ編

JIUは、学内の各運動部の強化・発展に努めているだけではない。開学以来、「地域振興とスポーツ」をスローガンに、高校生、中学生、小学生らに「スポーツの場」を提供し、育成してきた。今号では、本学と地域との連携を礎に行われている柔道大会、剣道大会、少年サッカー大会などについて紹介する。

(※各運動部の活躍・活動ぶりについては、「城西国際大学スポーツ春号」(4月中旬発行)で、「新主将が率いる新体制」を通してお伝えします)



水田三喜男杯争奪選抜高等学校柔道大会

2018年12月26日(水)、東金キャンパスのスポーツ文化センターで「第18回水田三喜男杯争奪選抜高等学校柔道大会」を開催した。

男子決勝は通算2回目の優勝を目指す修徳高校(東京)と大牟田高校(福岡)の対戦となり、大牟田高校が勝利し、初優勝を果たした。

女子決勝は、昨年に引き続き、決勝戦進出となる富士学苑高校(山梨)と2回目の優勝を目指す藤枝順心高校(静岡)の対戦となり、富士学苑高校が勝利し、初優勝。

本大会は創立者の水田三喜男先生が柔道にいらしたことにちなみ2001年にスタート。現在では全国の強豪校が集う大会として年末の風物詩となっている。

水田三喜男旗争奪選抜高等学校剣道大会

文武両道の精神で人材育成

大菅生高校(東京)と横浜高校(神奈川県)の決勝戦となり、横浜高校が初優勝を果たした。女子は、翔鷹高校(千葉)と連覇を目指す阿蘇中央高校(熊本)が決勝戦に進出し、阿蘇中央高校が4度目の優勝に輝いた。

昨年に引き続き、海外から韓国選抜チームも参加した。国内で選考会を行い、強化合宿を経て、本大会に臨んだ。結果は予選リーグを突破したが、決勝トーナメントで惜しくも敗退した。



川淵三郎杯 城西国際大学少年サッカー大会

「川淵三郎杯 城西国際大学少年サッカー大会」は2月23日、東金キャンパス 高円宮殿下記念スポーツパークで開かれた。今回で6回を迎え、すっかり地元で定着している。

この大会は、スポーツを通して次世代を担う青少年の健全な育成を支援している。

このサッカー大会を支えているのが高円宮殿下記念スポーツパーク。2012年5月、創立20周年記念事業の一環として、公式試合が可能なサッカーグラウンドを備えたスポーツパークが完成した。スポーツ振興や国際交流活動に尽力した高円宮殿下(2002年薨去)のご功績を称え、またそのご遺徳を次代に継承すべく「PRINCE TAKAMADO MEMORIAL SPORTS PARK (高円宮殿下記念スポーツパーク)」と命名された。

竣工式には、高円宮殿下にご臨席賜り、メモリアルゲートの除幕をおこなっていただいた。スポーツパークは、東金キャンパスに隣接し、約3300平方メートルの広さ。サッカーグラウンドとクラブハウスおよび多目的広場などの施設を有している。

サッカーグラウンドの面積は、約10750平方メートル。選手らの健康管理に配慮し、夏場における表面温度上昇を抑えるような人工芝を施している。また、ナイター設備もあり、ピッチには約300の観覧席を設けている。クラブハウスは、延べ面積約450平方メートル。監督室やミーティングルーム、ロッカールームなどを設けるとともに、屋上に60名収容の観覧席を配置している。スポーツパークは、サッカー部が利用するほか、青少年の育成など地域のスポーツ振興に生かしていくとともに、スポーツを通しての国際親善・交流活動の拠点としても活用している。



成に寄与し、スポーツを楽しみながら親睦と交流を図り、サッカーの普及・発展に努め、地域のスポーツ振興に貢献することを目的として開催している。山武郡市の少年サッカーチームが集い、川淵三郎杯を目指して熱戦を繰り広げた。

To Young

高校生・受験生への「耳寄り情報」

2019年度「オープンキャンパス」日程(予定)

月	日付	実施キャンパス
5月	5月25日(土) 5月26日(日)	千葉東金・安房 東京紀尾井町
6月	6月9日(日) 6月15日(土)	東京紀尾井町 千葉東金・安房
7月	7月20日(土) 7月21日(日) 7月28日(日)	千葉東金 東京紀尾井町 安房
8月	8月4日(日) 8月18日(日) 8月22日(木) 8月23日(金)	東京紀尾井町 東京紀尾井町 千葉東金 安房
9月	9月14日(土) 9月15日(日)	千葉東金・安房 東京紀尾井町
10月	10月5日(土) 10月27日(日)	千葉東金・安房 東京紀尾井町
11月	11月3日(日(祝)) 11月23日(土(祝))	千葉東金(大学祭同時開催) 安房(ウェルネス交流デイ同時開催)
12月	12月1日(日) 12月7日(土) 12月21日(土)	東京紀尾井町 千葉東金 安房



城西国際大学では毎年度、「オープンキャンパス」を開催しています。それぞれの学部・学科でどのようなことを学べるかははじめとする大学全体に関する説明のほか、入試説明、キャンパスツアー(スタンプがキャンパス内をご案内)、個別相談(教員・在学生・職員がご説明)などによって城西国際大学のことを詳しく知っていただける機会です。高校生・受験生の皆さんに、ぜひお気軽にご参加していただければと思います。

地理的な理由などで参加できない方のために各地で「出張オープンキャンパス」も実施します。それぞれの「体験授業」も実施しています(※体験授業DAYのみ実施)。2019年度のオープンキャンパス日程(予定)は左記のようになっています。

オープンキャンパスに來れ!

大学 Goods

「JIUグッズ」は、こんなにたくさんあります(写真)。記念にどうぞ。大学祭などの行事に合わせて「JIUグッズ」の販売所を設けています。問い合わせは、総務課(0475-55-8800)へ。



※「ブルガリアウォーター」「ローズクリーム」「リップバーム」の3点は杉林学長の研究開発商品です(リップバームは文房具の筆ペン容器からヒントを得た化粧品容器を作りました)

地区懇談会

地区懇談会は、保護者の方との相互理解の場として、全学部から教員が各地区を訪れ、本学全体の教育への取り組みの紹介や、学部ごとに分かれて学部教育についての説明、個別相談を行っている。また出張オープンキャンパスも開設し、受験生の個別相談も行っている。

2018年は、6月9日の神奈川地区父母懇談会(横浜市)をスタートとして、12月1日の東金キャンパスで行われる懇談会まで、11地



神奈川地区父母懇談会であいさつする杉林学長

区で開催した。いずれも開催地近隣の保護者の方が多数参加した。2019年の開催地・日時は表の通り。

平成31年度 地区懇談会 開催日程

日程	支部名	開催地	会場名
6/8(土)	神奈川	横浜	ローズホテル横浜
6/22(土)	茨城	水戸	三の丸ホテル
7/7(日)	山梨	甲府	ホテル談露館
7/13(土)	埼玉	さいたま	清水園
8/3(土)	四国	松山	ホテルマイステイズ松山(旧JALシティホテル)
9/7(土)	東北	山形	山形国際ホテル
9/21(土)	群馬	高崎	メトロポリタン高崎
10/6(日)	新潟	新潟	ANAクラウンプラザホテル新潟
10/12(土)	静岡	静岡	ホテルセンチュリー静岡
11/9(土)	栃木	宇都宮	ホテルマイステイズ宇都宮
12/7(土)	千葉(全国)	東金	城西国際大学

JIUの父母後援会は、大学と保護者との相互理解を深めるため、活動しています。各地で父母地区懇談会も開いています。この地区懇談会が父母後援会の一番大きな事業です。保護者は日頃大学と疎遠になりがちで、自分の子どもたちが通うキャンパスにおいて指導す

る先生や職員と接触する機会を持つことはなかなか難しいのが実情です。地区懇談会は、いわば「出張キャンパス」です。

JIUは実技・実習においても基礎がしっかりしており、安心して学べる大学です。娘は4年生、看護学部で学んでいます。JIUは

スポーツ、文化活動も盛んで、体育館、高円宮殿下記念入スポーツパークなど千葉県内屈指のスポーツ施設も整っております。父母後援会は、大学と一体となって、子どもたちの教育向上のために、さらに良きJIUにしたいと、努めております。保護者と大学・教職員を結ぶ架け橋役を目指しています。

父母後援会から



ここで学んで 談話室

作品「心華」で「毎日書道展」奨励賞



国際人文学部国際交流学科 高橋 佑典さん

2回の校内合宿があった」という。名門の「運動部」と同じようなハードさだ。それにもまれ、やがて、書道の初心者、全国レベルの「書き手」になる。3年生の時は主将になった。

書道には、「大字」「中字」「細字」などの部門があるが、高橋さんは「大字」を選んだ。高校2年、3年の時に全国国際高校生選抜書展で2年連続、東北地区優勝を果たす。

2016年4月にJIUに入学した高橋さんは、この4月に3年生になった。夢は英語の教師になることだ。

「今後も書道が続けるか」という質問に「受賞したU23奨励賞の大字書部門では、昨年度も入賞しました。今年度はさらに上の賞を頂けて、うれしく思っています。書家になるつもりはありませんが、趣味として続けていけたらと考えています」と話す。



2018年度の第70回毎日書道展の「大字書」部門でU23奨励賞を受賞した。毎日書道展は、70年の歴史がある日本最大規模の書道展で、プロの書家になるための登竜門と言われている。今回、公募、会友、役員ら合わせて32000点を上回る出品があったという。奨励賞を受賞した作品は「心華」=写真。

高橋さんが書道を始めたのは、意外にも遅く高校(宮城・仙台育英)の書道部に入部してからだ。動機も「親しくしていた友人が入ったから」。ただ、この書道部は、レベルが高かった。プロの書家で国語を教える渡辺章紀(一夢)先生が顧問で、毎日放課後に4~5時間、筆を持った。「お盆と年末年始以外は毎日、部室で練習した。他に、月に1、

バックナンバー

Back Number

広報誌

『学ぶ』の軌跡

創刊号

城西国際大学は、地域に寄り添う国際的な総合大学として歴史を刻んできた。その歩みと「いま」を伝える充実した広報誌を読みたい、との声を受け、2017年秋に『学ぶ』を発刊。

創刊号には、杉林堅次学長とのインタビュー編「明日に向かって未来を拓く」や新理事長に就任した上原明氏の「ごあいさつ」などを掲載した。表紙は、ドローンが空撮した東金キャンパス。



第2号

第2号は2018年秋に発行。杉林学長の特別寄稿「JUIUの進む道や卒業制作の作品が東京国際映画祭の「日本映画スラッシュ部門」に選出された高橋賢成さん（メディア学部卒）ら活躍している先輩の方々を紹介している。表紙は、紅葉が美しい東金キャンパス。



『学ぶ』は、2019年度から春と秋の年2回の発行になります。

ぜひ読んでください

『城西国際大学スポーツ』

—JIUアスリートの活躍をまとめて紹介!

2017年4月に発行した「新入生歓迎号」が創刊号。年3回発行し、2018年夏号で5回目を数えた。硬式野球部、サッカー部、女子駅伝部、女子ソフトボール、観光学部軟式野球部、柔道部、剣道部など主要な運動部の各大会での成績、活動ぶりのほか東京五輪の正式種目となったサーフィンにも焦点を当てて紹介。「学生時代のスポーツ」を語る教職員のコラムやプロの世界や実業団で活躍している卒業生の姿も追っている。



『JIU TIMES』

—『The Japan Times』とタイアップした学内英字紙

城西国際大学では、日本最大の発行部数を有する英字新聞『The Japan Times』とのタイアップによる『JIU TIMES』を刊行している。「国際大学にふさわしい学内英字紙を」という願いから2012年夏に創刊された。年3~4回発行され、2018年夏号で24回の発行を数えた。本学のさまざまな国際交流の取り組み、大学行事、研究の紹介やコラムを教職員、学生、留学生が英語で記事を執筆、英訳している。東金市をはじめとする周辺自治体の首長インタビューも登場し、地域との連携の様子も紹介されている。



発行：2019年4月
編集：学校法人城西大学 広報センター
発行者：城西国際大学 総務課
〒283-8555 千葉県東金市求名1番地
TEL：0475-55-8800

HP <http://www.jiu.ac.jp/>

【編集後記】
広報誌『学ぶ』は、2019年から春号と秋号の2回発行することになりました。
3年後の2022年、城西国際大学は、創立30周年を迎えます。今回の春号から、その30周年の記念誌編纂を目指し、「JUIUヒストリー」の連載（分冊誌本）をスタートさせました。綴じ込みページをご覧ください。（発行総務課）

悼む

その志と思いが「道徳」教科書に

秋澤瞳さんを偲ぶ



秋澤瞳さん（家族提供）

活発な学生だった。そして、3年生の時、スウェーデンのストックホルム大学の海外留学の夢をかなえるため、準備を進めていた。

緑の福祉国家を足元から。環境社会学部で学んでいた秋澤瞳さん（当時21歳）は、その志半ばで交通事故に遭い、この世を去った。

秋澤さんは聴覚障害というハンデキャップを持ちながらも、幼い時から音楽に合わせて体を動かすリトミックや絵画、書道など、さまざまな習い事を通して、健やかに育った。

農業に従事する父の影響や、故郷・神奈川県二宮町の自然を大切にしたいという思いから、城西国際大学環境社会学部に入学した。実家を離れ、一人暮らしをしながら、福祉施設の仕事をボランティアやアルバイトとして手伝えるなど、

二宮町の小中学校では道徳の授業で取り上げられた。また、秋澤さんも希望していた海外留学に参加する学生には、秋澤さんが大切にしてきたぬいぐるみが託された。社会はみんなで共に変えていくことができる——。秋澤さんのその思いを胸に、学生たちは世界に羽ばたく。

JUでは>>>

姉妹校である城西大学（JU）での話題、活躍の選手、受賞などについて紹介します。

城西大体育館でプロバスケットBリーグ試合

埼玉ブロンコス vs. 大塚商会越谷アルファーズ

姉妹校の城西大学の総合体育館で、2018年11月17、18の両日、プロバスケットボールBリーグの埼玉ブロンコスと大塚商会越谷アルファーズの試合が行われた。埼玉ブロンコスは埼玉県所沢市とさいたま市を中心とした埼玉県全土をホームタウンとするB3リーグに所属するプロバスケットボールチーム。2018年度から城西大学がスポンサーに加わり、から坂戸キャンパスでの試合開催が実現した。

17日の始球式は坂戸市の石川清市長が務め、18日は白幡昌学長が行った。

両日も試合開始前とハーフタイムに全学応援団チアリーダー部が、パフォーマンスを披露し、試合の盛り上げに役を買った。また、バスケットボール部の部長がフロアを拭くモバールを務めた。総合体育館では2階席のほかに、フロアにも椅子の特別席を設け、多くの来場者が迫力とスピード感あふれるプロの試合を堪能した。



支えています

JOSAIサポート株式会社三耀は、学校法人城西大学の子会社。1976年の創業以来、城西国際大学や城西大学のキャンパス内の各種施設の管理・運営などを行い、数多くの学生たちを直接的・間接的にサポートしてきた。快適なキャンパスライフを過ごせるのも「JOSAIサポート」が支えているからだ。学生食堂や学内の売店やコピー機、証明写真機などの運営・管理も行っている。第一食堂（とちテラス）、第二食堂（ふうテラス）、たぶテラス、コンビニエンスストアの運営にも携わっている。キャンパス内を安全かつ清潔な環境に保つことも使命だ。建物施設の保守・空調・清掃管理をはじめ、セキュリティに關しても万全の体制で臨んでいる。また、紀尾井町キャンパスにある化石ギャラリーの関連グッズも販売している。オンラインショッピングも行っている。詳しくはホームページが左記へ。



「とちテラス」(左)と「ふうテラス」=株式会社三耀HPから



JOSAIサポート株式会社三耀
TEL:03-3556-1277
東京都千代田区平河町2-8-3
学校法人城西大学
紀尾井町キャンパス2号棟内